

モニタリング指標の算出について

香川県 土木部 都市計画課

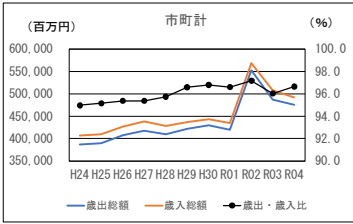
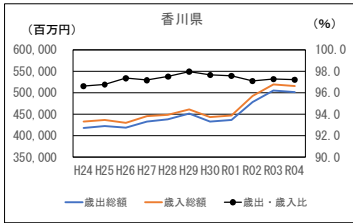
モニタリング指標の算出（平成24年度・平成29年度・令和4年度データの収集）

評価の視点	評価結果の考察	モニタリング指標	使用データ
都市・ 地域経営	人口減少による税収減、超高齢化社会による社会保障費の増加のため、歳出・歳入比は上昇するものの、集約化を図ることにより、効率的な都市経営に寄与。	■歳出・歳入額（比） 県の一般会計における歳出・歳入をモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。 ■目的別（土木費等）・性質別（維持修繕費）歳出／人口 土木費や普通建設事業費等、目的別・性質別の歳出額を人口で除した一人あたりの目的別・性質別歳出を指標として設定し、維持管理費に関する費用および人口減少下における一人あたりの歳出額について経過観察を行う。 ■財政力指数 各市町における財政力を表す財政力指数をモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	○決算カード（H24～R04）（総務省） ○全市町村の主要財政指標（H24～R04）（総務省）
		■拠点内人口 集約化の進行状況を把握するための指標として、拠点内人口を設定する。	○国勢調査（総務省） ・小地域別集計（H22、H27、R02） ○香川県都市計画基礎調査 ・集約拠点及び都市機能・居住誘導区域（H29、R04）
地域活性化	拠点へのアクセシビリティを高めることにより、拠点へのトリップ数の増加が図られ、それにより都市の活性化が図られるものと想定される。	■年間商品販売額 商業統計調査、経済センサス活動調査として整理することとなっている「年間商品販売額」をもとに、拠点内商業施設に関する販売額を算出したものをモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	○商業統計調査（H19、H26）及び経済センサス活動調査（R03）（経済産業省） ・立地環境特性別統計編
田園 都市生活	集約型都市構造へ移行することにより、都市圏内トリップの平均距離は短縮が図られ、より無理なく移動できる都市構造となりうる。	■公共交通利用者数 公共交通事業者の協力を前提に、各事業者の年間利用者数及び駅間ODデータを提供していただき、県合計を行ったものをモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	○JR四国資料 ・年間利用者数、駅間OD（H24、H29、R04）
交通網 利便性	公共交通促進や集約化を図る施策により、公共交通利用の増加が図られる。	■アクセシビリティ・公共交通カバレッジ 鉄道およびバス時刻表をもとに、拠点駅・拠点施設から時間圏を算出・図化するとともに、30分圏人口カバー率等を算出し、その状況に関する経過観察を行う。 ■通勤時間が30分以内の世帯割合 家計を主に支える者の通勤時間が30分以内の世帯数について経過観察を行う。	○時刻表（JR、ことでん、バス） ○国勢調査（総務省） ・小地域別集計（H22、H27） ・基本単位区集計（R02） ○香川県都市計画基礎調査 ・鉄道・バス（H29、R04） ○住宅・土地統計調査（H25、H30、H05）
		■交通手段分担率（通勤・通学） 交通手段状況を把握するために、主たる移動である通勤・通学に着目して、経過観察を行う。	○国勢調査（総務省） ・利用交通手段別就業通学者数（H22、R02）
交通安全 交通環境	各種交通対策により自動車分担率が低下し、交通事故・環境排出ガスの削減が図られる。	■交通事故発生件数 香川県警察本部が主管として統計的にデータ整備を行っている交通事故件数をもとに、交通事故発生件数をモニタリング指標として設定し、経過観察を行う。	○警察事故統計（香川県警） ・交通事故発生件数、死傷者数（H24～R04） *事故統計は年データ、他は年度データ
		■CO2発生量 全国道路・街路交通情勢調査による自動車交通に関するCO2発生量をもとに、環境への影響に関する経過観察を行う。	○全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省） ・箇所別基本表（H22、H27、R03）

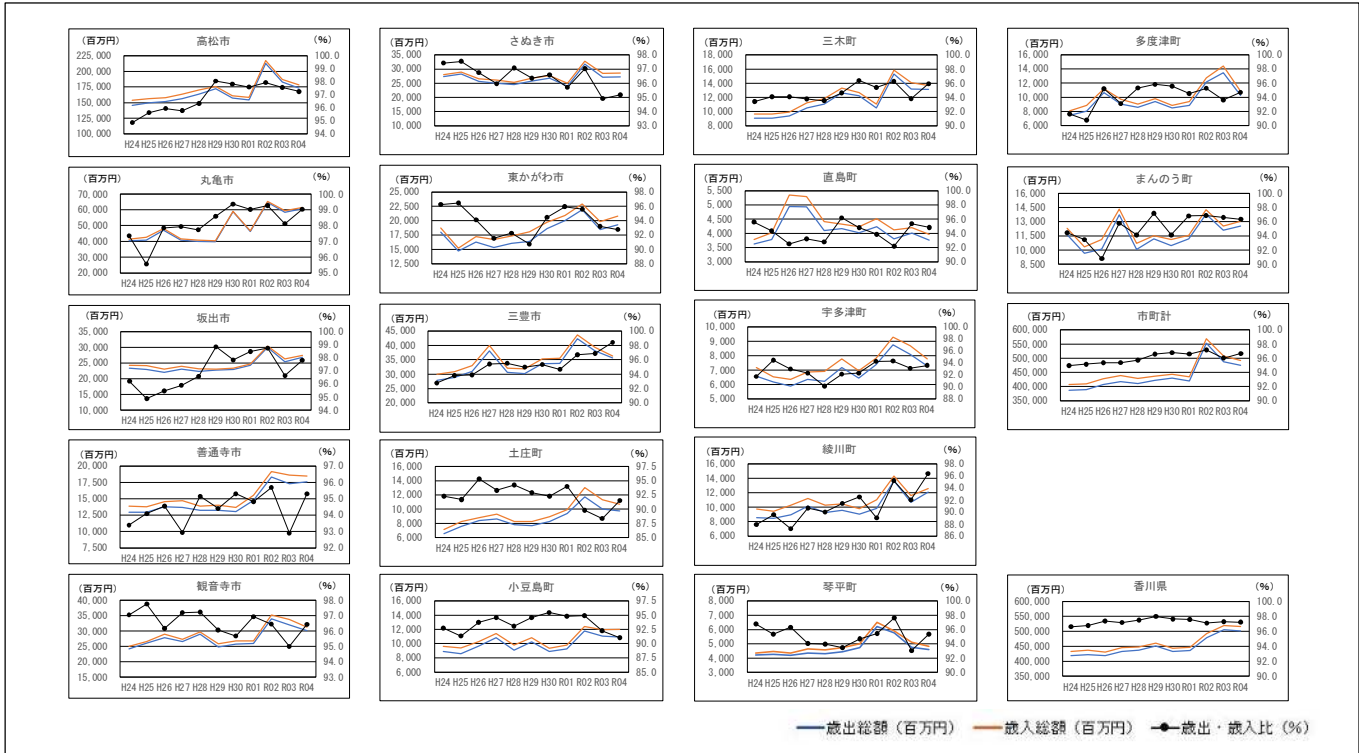
都市・地域経営	歳出・歳入額（比）	（使用データ）H24-R04の県及び各市町決算カードの歳出総額、歳入総額の比
---------	-----------	--

- ・県及び各市町の歳出、歳入総額はほぼ一定で推移していたが、R2年からR4年に掛けて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて急増した。 H29からR4までの歳出・歳入比を見ると、県及び各市町の合計では96～98％程度で推移しているが、個別の市町では95％未満の低い歳出・歳入比の市町も見られる。
- ・H29からR4の5年間で歳出・歳入比が最も上昇したのは**綾川町**で、最も低下したのは**小豆島町**である。歳出・歳入比の11箇年平均では、**丸亀市**が最も高く、**綾川町**が最も低い。

	H24			H29			R04			H29→R4	H24→R4	11箇年平均		
	歳出総額 (百万円)	歳入総額 (百万円)	歳出・歳入比 (%)	歳出総額 (百万円)	歳入総額 (百万円)	歳出・歳入比 (%)	歳出総額 (百万円)	歳入総額 (百万円)	歳出・歳入比 (%)	歳出・歳入比増減 ポイント	歳出・歳入比増減 ポイント	歳出総額 (百万円)	歳入総額 (百万円)	歳出・歳入比 (%)
高松市	145,855	153,749	94.9	172,499	175,910	98.1	173,425	178,323	97.3	△ 0.8	2.4	165,582	170,938	96.9
丸亀市	40,331	41,424	97.4	39,837	40,409	98.6	60,794	61,387	99.0	0.4	1.7	48,880	49,734	98.3
坂出市	23,373	24,293	96.2	22,782	23,050	98.8	26,835	27,436	97.8	△ 1.0	1.6	24,177	24,905	97.1
普通寺市	12,983	13,901	93.4	13,245	14,029	94.4	17,585	18,452	95.3	0.9	1.9	14,622	15,483	94.4
観音寺市	24,219	24,952	97.1	24,767	25,781	96.1	30,121	31,234	96.4	0.4	△ 0.6	27,834	28,840	96.5
さぬき市	27,370	28,092	97.4	25,816	26,789	96.4	27,218	28,593	95.2	△ 1.2	△ 2.2	26,684	27,672	96.4
東かがわ市	17,989	18,689	96.3	16,380	18,053	90.7	19,279	20,780	92.8	2.0	△ 3.5	17,727	18,862	94.0
三豊市	27,809	29,979	92.8	30,187	31,784	95.0	35,659	36,231	98.4	3.4	5.7	33,625	35,238	95.4
土庄町	6,563	7,111	92.3	7,637	8,222	92.9	9,756	10,662	91.5	△ 1.4	△ 0.8	8,694	9,438	92.1
小豆島町	8,914	9,613	92.7	10,252	10,839	94.6	10,943	12,019	91.0	△ 3.5	△ 1.7	9,939	10,630	93.5
三木町	9,062	9,699	93.4	12,633	13,349	94.6	13,111	13,665	95.9	1.3	2.5	11,467	12,099	94.8
直島町	3,618	3,785	95.6	4,164	4,329	96.2	3,760	3,965	94.8	△ 1.4	△ 0.8	4,126	4,385	94.1
宇多津町	6,573	7,167	91.7	7,168	7,782	92.1	7,290	7,790	93.6	1.5	1.9	6,938	7,470	92.9
綾川町	8,577	9,755	87.9	9,568	10,465	91.4	12,119	12,574	96.4	5.0	8.5	10,026	10,977	91.3
琴平町	4,209	4,349	96.8	4,432	4,741	93.5	4,591	4,814	95.4	1.9	△ 1.4	4,707	4,948	95.1
多度津町	7,424	8,102	91.6	9,399	9,808	95.8	10,266	10,840	94.7	△ 1.1	3.1	9,670	10,264	94.2
まんのう町	11,592	12,275	94.4	11,192	11,518	97.2	12,555	13,032	96.3	△ 0.8	1.9	11,491	12,065	95.2
市町計	386,460	406,936	95.0	421,958	436,858	96.6	475,307	491,797	96.6	0.1	1.7	436,190	453,948	96.1
香川県	418,446	433,080	96.6	451,404	460,728	98.0	501,283	515,593	97.2	△ 0.8	0.6	448,739	461,202	97.3

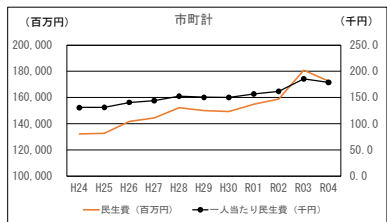
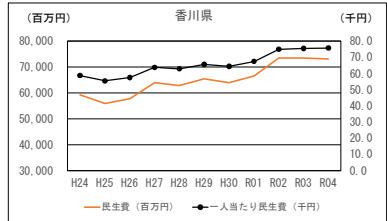


都市・地域経営	歳出・歳入額（比）	（使用データ）H24-R04の県及び各市町決算カードの歳出総額、歳入総額の比
---------	-----------	--



都市・地域経営	目的別歳出／人口（民生費）	（使用データ）H24-R04の県及び各市町決算カードの目的別歳出状況のうち「民生費」の額 H24-R04（各年度1月1日）の住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）の総計人口 （ただし出典の都合によりH24、H25は3月31日時点の人口）
・すべての市町で、一人当たり民生費は増加している。R04年度は県76.3千円、市町計180.5千円で合計県民一人当たり256.8千円の負担となっている。 ・H29からR4の5年間で一人当たり民生費の増減指数が最も高かったのは まんのう町 で、最も低かったのは 小豆島町 である。一人当たり民生費の11箇年平均では 普通寺市 が最も高く、 多度津町 が最も低い。		

	H24			H29			R04			H29→R04の変化		H24→R04の変化		11箇年平均		
	民生費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り民生費 (千円)	民生費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り民生費 (千円)	民生費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り民生費 (千円)	民生費 増減指数 (H29=100.0)	一人当 り民生費 増減指数 (H29=100.0)	民生費 増減指数 (H24=100.0)	一人当 り民生費 増減指数 (H24=100.0)	民生費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り民生費 (千円)
高松市	58,365	427,572	136.5	66,448	429,189	154.8	77,087	422,424	182.5	116.0	117.9	132.1	133.7	67,714	427,510	158.4
丸亀市	15,289	113,618	134.6	16,463	113,545	145.0	20,358	111,575	182.5	123.7	125.8	133.2	135.6	17,554	113,061	155.3
坂出市	7,822	56,235	139.1	8,600	53,797	159.9	9,302	50,931	182.6	108.2	114.2	118.9	131.3	8,608	53,697	160.3
普通寺市	5,062	33,248	152.3	5,421	32,371	167.5	5,795	30,682	188.9	106.9	112.8	114.5	124.0	5,503	32,256	170.6
観音寺市	8,033	63,446	126.6	8,594	61,070	140.7	10,037	57,738	173.8	116.8	123.5	124.9	137.3	8,862	60,895	145.5
さぬき市	6,496	52,374	124.0	7,760	49,512	156.7	8,265	45,822	180.4	106.5	115.1	127.2	145.4	7,411	49,395	150.0
東かがわ市	4,269	33,968	125.7	5,155	31,441	164.0	5,301	28,498	186.0	102.8	113.5	124.2	148.0	4,888	31,326	156.0
三豊市	8,570	69,801	122.8	9,699	66,642	145.5	11,182	62,258	179.6	115.3	123.4	130.5	146.3	9,796	66,469	147.4
土庄町	1,689	15,337	110.1	2,011	14,213	141.5	2,339	13,000	179.9	116.3	127.2	138.5	163.4	2,015	14,224	141.7
小豆島町	1,921	16,104	119.3	2,561	14,976	171.0	2,365	13,616	173.7	92.3	101.6	123.1	145.6	2,189	14,956	146.4
三木町	2,897	28,914	100.2	4,075	28,469	143.1	4,253	27,310	155.7	104.4	108.8	146.8	155.5	3,694	28,298	130.5
直島町	373	3,206	116.2	445	3,091	144.0	546	2,949	185.1	122.7	128.6	146.5	159.3	456	3,100	147.2
宇多津町	1,992	17,988	110.8	2,309	18,530	124.6	2,741	18,446	148.6	118.7	119.2	137.6	134.2	2,347	18,410	127.5
綾川町	3,290	25,149	130.8	3,324	24,456	135.9	4,110	23,368	175.9	123.6	129.4	124.9	134.5	3,538	24,348	145.3
琴平町	1,251	9,887	126.5	1,332	9,322	142.9	1,558	8,434	184.7	117.0	129.3	124.5	146.0	1,351	9,246	146.1
多度津町	2,519	23,975	105.1	2,887	23,647	122.1	3,431	22,126	155.1	118.8	127.0	136.2	147.6	2,906	23,357	124.4
まんのう町	2,501	19,885	125.8	3,022	18,934	159.6	3,992	17,610	226.7	132.1	142.0	159.6	180.2	3,017	18,879	159.8
市町計	132,337	1,010,707	130.9	150,106	993,205	151.1	172,662	956,787	180.5	115.0	119.4	130.5	137.8	151,849	989,428	153.5
香川県	59,346	1,010,707	58.7	65,472	993,205	65.9	73,037	956,787	76.3	111.6	115.8	123.1	130.0	65,070	989,428	65.8



民生費：児童福祉、老人福祉、障害者等の社会福祉、生活保護等に関する費用。歳出の目的別分類の1つ。

都市・地域経営	目的別歳出／人口（民生費）	（使用データ）H24-R04の県及び各市町決算カードの目的別歳出状況のうち「民生費」の額 H24-R04（各年度1月1日）の住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）の総計人口 （ただし出典の都合によりH24、H25は3月31日時点の人口）
----------------	----------------------	---

一人当たり民生費（決算額）の推移

民生費（百万円） 一人当たり民生費（千円）

高松市

民生費（百万円）: 40,000 to 90,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

さぬき市

民生費（百万円）: 5,000 to 10,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

三木町

民生費（百万円）: 2,500 to 5,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

多度津町

民生費（百万円）: 2,100 to 3,600
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

丸亀市

民生費（百万円）: 10,000 to 22,500
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

東かがわ市

民生費（百万円）: 3,500 to 6,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

直島町

民生費（百万円）: 200 to 700
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

まんのう町

民生費（百万円）: 1,000 to 4,750
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

坂出市

民生費（百万円）: 6,000 to 11,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

三豊市

民生費（百万円）: 5,500 to 13,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

宇多津町

民生費（百万円）: 1,000 to 3,500
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

市町計

民生費（百万円）: 100,000 to 200,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

善通寺市

民生費（百万円）: 4,000 to 6,500
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

土庄町

民生費（百万円）: 1,500 to 2,750
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

綾川町

民生費（百万円）: 2,000 to 4,500
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

香川県

民生費（百万円）: 30,000 to 80,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 100.0

観音寺市

民生費（百万円）: 6,000 to 11,000
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

小豆島町

民生費（百万円）: 1,500 to 2,750
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

琴平町

民生費（百万円）: 1,100 to 1,600
一人当たり民生費（千円）: 0.0 to 250.0

都市・地域経営	目的別歳出／人口（土木費）	（使用データ）H24-R04の県及び各市町決算カードの目的別歳出状況のうち「土木費」の額 H24-R04（各年度1月1日）の住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）の総計人口 （ただし出典の都合によりH24、H25は3月31日時点の人口）
・一人当たり土木費は、県費、市町計ともにほぼ横ばいの状況が続いている。令和4年度の一人当たり土木費は、県費が50.8千円、市町計が38.3千円で、合計県民一人当たり89.1千円の負担となっている。 ・H29からR4の5年間で一人当たり土木費の増減指数が最も高かったのは小豆島町で、最も低かったのは宇多津町である。一人当たり土木費の11箇年平均では、直島町が最も高く、三木町が最も低い。		

	H24			H29			R04			H29→R04の変化		H24→R04の変化		11箇年平均		
	土木費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り土木費 (千円)	土木費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り土木費 (千円)	土木費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り土木費 (千円)	土木費 増減指数 (H29=100.0)	一人当 り土木費 増減指数 (H29=100.0)	土木費 増減指数 (H24=100.0)	一人当 り土木費 増減指数 (H24=100.0)	土木費 (百万円)	住民基本 台帳人口 (人)	一人当 り土木費 (千円)
高松市	12,854	427,572	30.1	13,358	429,189	31.1	13,113	422,424	31.0	98.2	99.7	102.0	103.3	13,243	427,510	31.0
丸亀市	2,433	113,618	21.4	2,575	113,545	22.7	4,236	111,575	38.0	164.5	167.4	174.1	177.3	3,059	113,061	27.1
坂出市	2,666	56,235	47.4	2,392	53,797	44.5	2,387	50,931	46.9	99.8	105.4	89.5	98.9	2,431	53,697	45.3
普通寺市	1,215	33,248	36.6	1,072	32,371	33.1	1,129	30,682	36.8	105.3	111.1	92.9	100.7	1,164	32,256	36.1
観音寺市	1,410	63,446	22.2	1,685	61,070	27.6	2,328	57,738	40.3	138.2	146.1	165.1	181.4	1,981	60,895	32.5
さぬき市	4,040	52,374	77.1	3,341	49,512	67.5	3,046	45,822	66.5	91.2	98.5	75.4	86.2	3,221	49,395	65.2
東かがわ市	944	33,968	27.8	1,228	31,441	39.1	1,244	28,498	43.7	101.3	111.8	131.8	157.1	1,173	31,326	37.4
三豊市	1,861	69,801	26.7	2,477	66,642	37.2	2,553	62,258	41.0	103.1	110.3	137.2	153.8	2,419	66,469	36.4
土庄町	474	15,337	30.9	816	14,213	57.4	1,314	13,000	101.1	161.0	176.1	277.1	326.9	785	14,224	55.2
小豆島町	630	16,104	39.1	530	14,976	35.4	926	13,616	68.0	174.7	192.2	146.9	173.7	688	14,956	46.0
三木町	310	28,914	10.7	513	28,469	18.0	502	27,310	18.4	97.9	102.0	162.0	171.5	431	28,298	15.2
直島町	262	3,206	81.8	292	3,091	94.5	531	2,949	180.1	181.8	190.6	202.5	220.1	387	3,100	125.0
宇多津町	752	17,988	41.8	587	18,530	31.7	436	18,446	23.6	74.3	74.6	58.0	56.6	694	18,410	37.7
綾川町	737	25,149	29.3	855	24,456	35.0	844	23,368	36.1	98.7	103.3	114.5	123.2	760	24,348	31.2
琴平町	180	9,887	18.2	236	9,322	25.3	228	8,434	27.0	96.6	106.8	127.0	148.9	226	9,246	24.5
多度津町	778	23,975	32.5	1,757	23,647	74.3	1,244	22,126	56.2	70.8	75.7	159.9	173.2	1,176	23,357	50.4
まんのう町	482	19,885	24.2	676	18,934	35.7	593	17,610	33.7	87.7	94.3	123.0	138.9	578	18,879	30.6
市町計	32,027	1,010,707	31.7	34,390	993,205	34.6	36,654	956,787	38.3	106.6	110.6	114.4	120.9	34,417	989,428	34.8
香川県	49,660	1,010,707	49.1	48,254	993,205	48.6	48,631	956,787	50.8	100.8	104.6	97.9	103.4	49,324	989,428	49.9

（百万円）

（千円）

H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04

土木費（百万円） 一人当たり土木費（千円）

（百万円）

（千円）

H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04

土木費（百万円） 一人当たり土木費（千円）

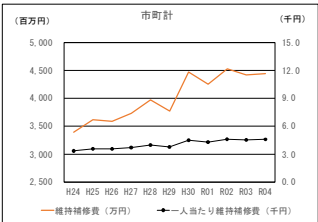
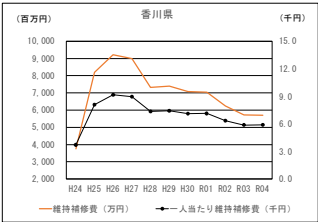
土木費：都市計画（街路・公園・下水道の整備や区画整理等）、道路・橋梁の整備・保全、河川改修・海岸保全等に関する費用。歳出の目的別分類の1つ。

都市・地域経営	目的別歳出／人口（土木費）	（使用データ）H24-R04の県及び各市町決算カードの目的別歳出状況のうち「土木費」の額 H24-R04（各年度1月1日）の住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）の総計人口 （ただし出典の都合によりH24、H25は3月31日時点の人口）
一人当たり土木費（決算額）の推移 土木費（百万円） 一人当たり土木費（千円） （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04 （百万円） （千円） H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02 R03 R04		

都市・地域経営	性質別歳出／人口 (維持補修費)	(使用データ) H24-R04の県及び各市町決算カードの性質別歳出状況のうちの「維持補修費」の額 H24-R04(各年度1月1日)の住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)の総計人口 (ただし出典の都合によりH24、H25は3月31日時点の人口)
---------	---------------------	---

- 一人当たりの維持補修費は、県費は近年やや下落傾向にあるが、市町計は微増している。令和4年度においては県費が6.0千円、市町計が4.6千円で合計県民1人当たり10.6千円の負担となっている。
- H29からR4の5年間で一人当たり維持補修費の増減指数が最も高かったのは**小豆島町**で、最も低かったのは**東かがわ市**である。一人当たり維持補修費の11箇年平均では、**まんのう町**が最も高く、**直島町**が最も低い。なお、琴平町の令和3年度までの維持補修費は極端に低額であるため、比較の対象外とした。

	H24			H29			R04			H29→R04の変化		H24→R04の変化		11箇年平均		
	維持補修費 (百万円)	住民基本台帳人口 (人)	一人当たり維持補修費 (千円)	維持補修費 (百万円)	住民基本台帳人口 (人)	一人当たり維持補修費 (千円)	維持補修費 (百万円)	住民基本台帳人口 (人)	一人当たり維持補修費 (千円)	維持補修費増減指数 (H29=100.0)	一人当たり維持補修費増減指数 (H29=100.0)	維持補修費増減指数 (H24=100.0)	一人当たり維持補修費増減指数 (H24=100.0)	維持補修費 (百万円)	住民基本台帳人口 (人)	一人当たり維持補修費 (千円)
高松市	1,437	427,572	3.4	1,433	429,189	3.3	2,065	422,424	4.9	144.1	146.4	143.7	145.4	1,778	427,510	4.16
丸亀市	222	113,618	2.0	230	113,545	2.0	261	111,575	2.3	113.5	115.5	117.7	119.8	235	113,061	2.08
坂出市	199	56,235	3.5	176	53,797	3.3	180	50,931	3.5	102.3	108.0	90.5	99.9	185	53,697	3.44
普通寺市	105	33,248	3.2	138	32,371	4.3	215	30,682	7.0	155.8	164.4	205.2	222.3	154	32,256	4.78
観音寺市	164	63,446	2.6	267	61,070	4.4	244	57,738	4.2	91.4	96.7	148.7	163.4	224	60,895	3.68
さぬき市	108	52,374	2.1	117	49,512	2.4	163	45,822	3.6	139.3	150.5	150.3	171.7	126	49,395	2.55
東かがわ市	129	33,968	3.8	280	31,441	8.9	147	28,498	5.2	52.5	57.9	113.6	135.5	197	31,326	6.29
三豊市	391	69,801	5.6	276	66,642	4.1	227	62,258	3.6	82.2	88.0	58.0	65.0	296	66,469	4.46
土庄町	63	15,337	4.1	93	14,213	6.5	67	13,000	5.2	72.0	78.8	106.8	125.9	92	14,224	6.45
小豆島町	39	16,104	2.4	44	14,976	2.9	74	13,616	5.4	168.2	185.0	188.3	222.7	55	14,956	3.66
三木町	28	28,914	1.0	55	28,469	1.9	62	27,310	2.3	112.7	117.5	221.3	234.3	48	28,298	1.69
直島町	3	3,206	0.9	5	3,091	1.6	7	2,949	2.4	139.8	146.5	233.2	253.5	5	3,100	1.61
宇多津町	101	17,988	5.6	107	18,530	5.8	130	18,446	7.0	121.5	122.0	129.1	125.8	109	18,410	5.93
綾川町	198	25,149	7.9	252	24,456	10.3	280	23,368	12.0	111.1	116.3	141.7	152.5	247	24,348	10.15
琴平町	1	9,887	0.1	1	9,322	0.1	48	8,434	5.6	8,223.0	9,088.8	8,055.8	9,443.6	5	9,246	0.51
多度津町	41	23,975	1.7	82	23,647	3.5	68	22,126	3.1	82.9	88.6	164.2	178.0	69	23,357	2.94
まんのう町	161	19,885	8.1	217	18,934	11.5	208	17,610	11.8	95.9	103.1	128.9	145.6	192	18,879	10.18
市町計	3,391	1,010,707	3.4	3,773	993,205	3.8	4,446	956,787	4.6	117.8	122.3	131.1	138.5	4,017	989,428	4.06
香川県	3,750	1,010,707	3.7	7,401	993,205	7.5	5,709	956,787	6.0	77.1	80.1	152.2	160.8	6,966	989,428	7.04



維持補修費：
公共施設等の維持に要する経費。
歳出の性質的分類の「その他」
のうちの1つであり、土木費等の
一部を含む。

都市・地域経営	性質別歳出／人口 (維持補修費)	(使用データ) H24-R04の県及び各市町決算カードの性質別歳出状況のうちの「維持補修費」の額 H24-R04(各年度1月1日)の住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)の総計人口 (ただし出典の都合によりH24、H25は3月31日時点の人口)
---------	---------------------	---

--	--	--

一人当たり維持補修費の推移																	
(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(千円)
高松市	高松市	さぬき市	さぬき市	三木町	三木町	多度津町	多度津町	丸亀市	丸亀市	東かがわ市	東かがわ市	直島町	直島町	まんのう町	まんのう町	市町計	市町計
普通寺市	普通寺市	土庄町	土庄町	綾川町	綾川町	香川県	香川県	坂出市	坂出市	三豊市	三豊市	宇多津町	宇多津町	観音寺市	観音寺市	小豆島町	小豆島町
琴平町	琴平町	小豆島町	小豆島町	琴平町	琴平町												

・県内で財政力指数（R04）が最も高いのは**宇多津町**で0.83、次いで**坂出市**が0.80となっており、最も低いのは**小豆島町**の0.29である。
H29からR4の5年間は全市町が下降しており、下降幅が最も小さいのは**善通寺市**、下降幅が最も大きいのは**東かがわ市**である。

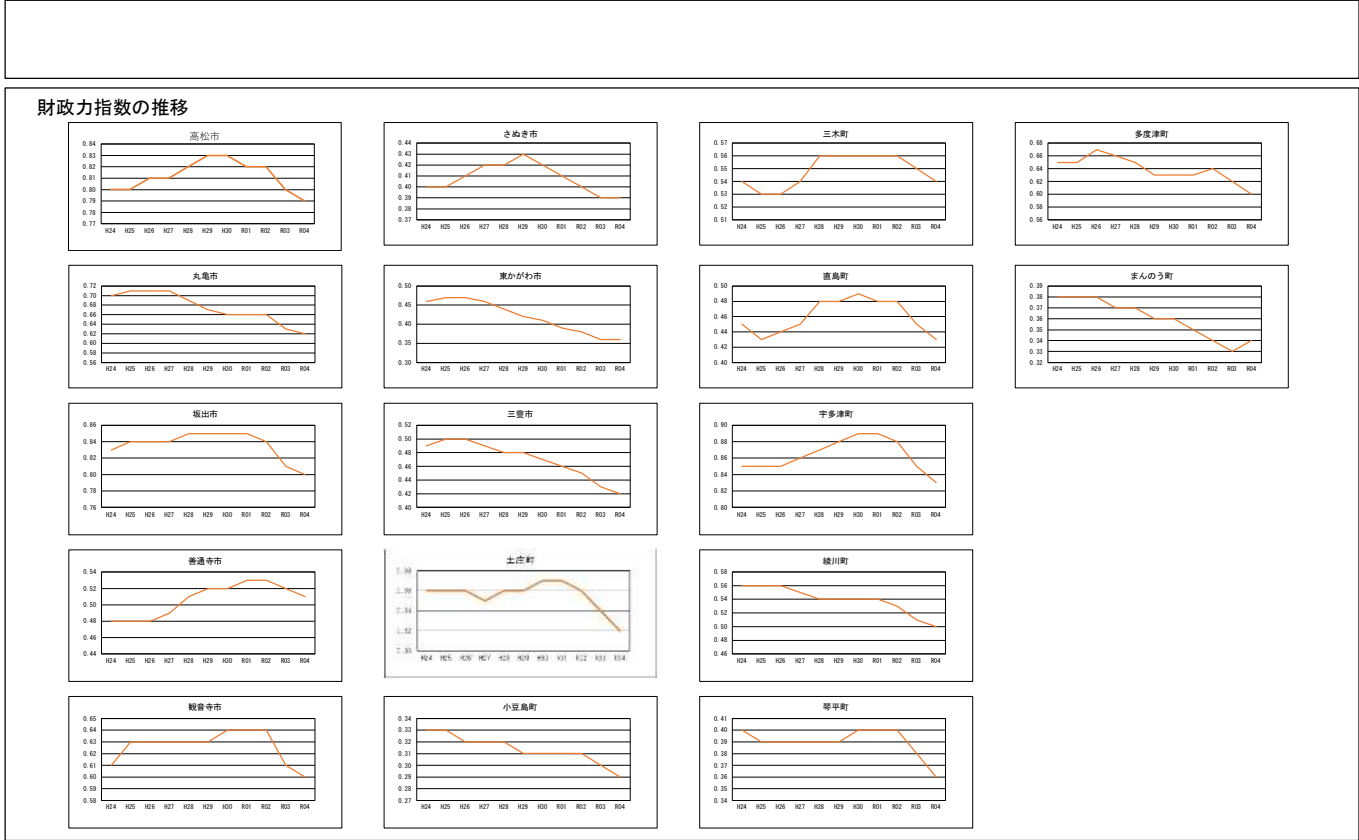
市町別の財政力指数

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H29→R04 の変化	H24→R04 の変化
高松市	0.80	0.80	0.81	0.81	0.82	0.83	0.83	0.82	0.82	0.80	0.79	-0.04	-0.01
丸亀市	0.70	0.71	0.71	0.71	0.69	0.67	0.66	0.66	0.66	0.63	0.62	-0.05	-0.08
坂出市	0.83	0.84	0.84	0.84	0.85	0.85	0.85	0.85	0.84	0.81	0.80	-0.05	-0.03
善通寺市	0.48	0.48	0.48	0.49	0.51	0.52	0.52	0.53	0.53	0.52	0.51	-0.01	0.03
観音寺市	0.61	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.64	0.64	0.64	0.61	0.60	-0.03	-0.01
さぬき市	0.40	0.40	0.41	0.42	0.42	0.43	0.42	0.41	0.40	0.39	0.39	-0.04	-0.01
東かがわ市	0.46	0.47	0.47	0.46	0.44	0.42	0.41	0.39	0.38	0.36	0.36	-0.06	-0.10
三豊市	0.49	0.50	0.50	0.49	0.48	0.48	0.47	0.46	0.45	0.43	0.42	-0.06	-0.07
土庄町	0.36	0.36	0.36	0.35	0.36	0.36	0.37	0.37	0.36	0.34	0.32	-0.04	-0.04
小豆島町	0.33	0.33	0.32	0.32	0.32	0.31	0.31	0.31	0.31	0.30	0.29	-0.02	-0.04
三木町	0.54	0.53	0.53	0.54	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.55	0.54	-0.02	0.00
直島町	0.45	0.43	0.44	0.45	0.48	0.48	0.49	0.48	0.48	0.45	0.43	-0.05	-0.02
宇多津町	0.85	0.85	0.85	0.86	0.87	0.88	0.89	0.89	0.88	0.85	0.83	-0.05	-0.02
綾川町	0.56	0.56	0.56	0.55	0.54	0.54	0.54	0.54	0.53	0.51	0.50	-0.04	-0.06
琴平町	0.40	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.40	0.40	0.40	0.38	0.36	-0.03	-0.04
多度津町	0.65	0.65	0.67	0.66	0.65	0.63	0.63	0.63	0.64	0.62	0.60	-0.03	-0.05
まんのう町	0.38	0.38	0.38	0.37	0.37	0.36	0.36	0.35	0.34	0.33	0.34	-0.02	-0.04
県内市町平均	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.54	0.52	0.51	-0.04	-0.03
全国市町平均	0.51	0.51	0.52	0.52	0.53	0.53	0.53	0.54	0.54	0.52	0.52	-0.01	0.01
香川県	0.43	0.43	0.44	0.46	0.48	0.49	0.49	0.49	0.49	0.46	0.45	-0.04	0.02
全国都道府県平均	0.46	0.46	0.47	0.49	0.51	0.52	0.52	0.52	0.52	0.50	0.49	-0.03	0.03

県内市町平均
全国市町平均
香川県
全国都道府県平均

財政力指数：
地方公共団体の財政力を示す指数で、
基準財政収入額を基準財政需要額で
除して得た数値の過去3年間の平均
値。 財政力指数が高いほど、普通交
付税算定上の留保財源が大きいこと
になり、財源に余裕があるといえる。

※端数処理の都合で、見かけ上の誤差が出る場合がある



坂出市

三豊市

宇多津町

善通寺市

土庄町

綾川町

観音寺市

小豆島町

琴平町

都市・地域経営	集約拠点内人口	(使用データ) 国勢調査小地域別集計(平成22年、平成27年、令和2年)を用いて各集約拠点(圏域ブロック)内人口を集計。小地域が集約拠点界をまたぐ場合は、平成29年度又は令和4年度の都市計画基礎調査の建物用途別現況データを用いて、住宅系建物の延べ面積の比率で内外を按分した。
---------	---------	---

- ・集約拠点内人口は、県全体の合計で見ると平成22年から平成27年の5年間で1.5%減少した一方で、対市町構成比は0.4%上昇し、人口が減少している中でも集約拠点への人口集約の傾向が見られる。
- ・集約拠点別の人口密度では、広域拠点の高松市中心市街地周辺が69.2人/haで最も高い。地域拠点では高松市南部が45.9人/haで最も高く、旧大内中心部が13.5人/haで最も低い。コミュニティ拠点では川添地区中心部が34.8人/haで最も高く、旧大川町中心部が6.2人/haで最も低いなど、拠点により差がある。
- ・対市町構成比の増減指数は、旧満濃町中心部が107.5で最も高く、牟礼地区中心部が93.6で最も低くなっている。

集約拠点内人口の推移（平成22年→平成27年）																						
市町	集約拠点地区	集約拠点面積 (ha)	平成22年				平成27年				5年間の増減指数（平成22年＝100.0）				人口増減指数の全体平均値との差 （ポイント）							
			国勢調査市町別人口 (人)		集約拠点		国勢調査市町別人口 (人)		集約拠点		国勢調査市町別人口	集約拠点人口	集約拠点人口密度	対市町構成比	対県構成比	香川県全体の人口増減指数との差	全県集約拠点の平均増減指数との差					
			人口(人)	人口密度(人/ha)	対市町	対県	人口(人)	人口密度(人/ha)	対市町	対県												
広域拠点	高松市	高松市中心市街地周辺	918.1	419,429	84,144	69.0	15.3	6.4	420,748	63,571	69.2	15.1	6.5	100.3	99.1	99.1	99.8	101.1	1.1	0.6		
	高松市	高松市南部地区※1	2,758.2	419,429	123,756	44.9	29.5	12.4	420,748	126,499	45.6	29.1	13.0	100.3	102.2	102.2	101.9	104.3	4.2	3.8		
	高松市	海元駅周辺地区	727.7	419,429	31,978	43.9	7.6	3.2	420,748	31,014	42.6	7.4	3.2	100.3	97.0	97.0	96.7	98.9	△ 1.0	△ 1.5		
	高松市	香西地区中心部	473.6	419,429	15,990	33.8	3.8	1.6	420,748	15,541	32.8	3.7	1.6	100.3	97.2	97.2	96.9	99.1	△ 0.8	△ 1.3		
	三木町	平太駅周辺地区	221.4	28,464	5,068	22.9	17.8	0.5	27,684	5,052	22.8	18.2	0.5	97.3	99.7	99.7	102.5	101.7	1.7	1.2		
	坂出市	坂出市中心部	1,053.5	55,621	27,965	26.5	50.3	2.8	53,164	26,680	25.3	50.2	2.7	95.6	95.4	95.4	99.8	97.3	△ 2.6	△ 3.1		
	丸亀市	丸亀市中心部	1,430.2	110,473	44,554	31.2	40.3	4.5	110,010	43,546	30.4	39.6	4.5	99.6	97.7	97.7	98.2	99.7	△ 0.3	△ 0.7		
	宇多津町	宇多津町中心部	305.8	18,434	13,072	42.7	70.9	1.3	18,952	13,282	43.4	70.1	1.4	102.8	101.6	101.6	98.8	103.8	3.0	2.7		
	多度津町	多度津町中心部	458.0	23,498	11,827	25.8	50.3	1.2	23,366	12,093	26.4	51.8	1.2	99.4	102.3	102.3	102.8	104.3	4.2	3.8		
	善通寺市	善通寺市中心部	625.4	33,817	12,552	20.1	37.1	1.3	32,927	12,082	19.3	36.7	1.2	97.4	96.3	96.3	98.9	98.2	△ 1.8	△ 2.2		
地域拠点	琴平町	琴平町中心部	241.6	9,967	5,881	24.3	59.0	0.6	9,186	5,312	22.0	57.8	0.5	92.2	90.3	90.3	98.0	92.1	△ 7.7	△ 8.1		
	観音寺市	旧観音寺市中心部	981.5	62,690	20,253	20.6	32.3	2.0	59,409	18,702	19.1	31.5	1.9	94.8	92.3	92.3	97.4	94.2	△ 5.7	△ 6.1		
	さぬき市	旧志度町中心部	734.6	53,000	13,764	18.7	26.0	1.4	50,272	13,412	18.3	26.7	1.4	94.9	97.4	97.4	102.7	99.4	△ 0.6	△ 1.0		
	東かがわ市	旧大内町中心部	625.3	33,625	8,982	14.4	26.7	0.9	31,031	8,422	13.5	27.1	0.9	92.3	93.8	93.8	101.6	95.6	△ 4.3	△ 4.7		
	三豊市	旧高瀬町中心部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	高松市	川島地区中心部	70.6	419,429	1,926	27.3	0.5	0.2	420,748	1,853	26.3	0.4	0.2	100.3	96.2	96.2	95.9	98.2	△ 1.8	△ 2.2		
	高松市	川添地区中心部	85.2	419,429	2,851	33.5	0.7	0.3	420,748	2,968	34.8	0.7	0.3	100.3	104.1	104.1	103.8	106.2	6.1	5.6		
	高松市	牟礼地区中心部	213.0	419,429	5,795	27.2	1.4	0.6	420,748	5,440	25.5	1.3	0.6	100.3	93.9	93.9	93.6	95.8	△ 4.2	△ 4.6		
	高松市	香川地区中心部	97.5	419,429	1,953	20.0	0.5	0.2	420,748	1,890	19.4	0.4	0.2	100.3	96.8	96.8	96.4	98.7	△ 1.3	△ 1.7		
	高松市	香南地区中心部	55.0	419,429	861	15.6	0.2	0.1	420,748	841	15.3	0.2	0.1	100.3	97.7	97.7	97.4	99.7	△ 0.3	△ 0.7		
コミュニティ拠点	高松市	国分寺地区中心部	257.1	419,429	5,956	23.2	1.4	0.6	420,748	5,943	23.1	1.4	0.6	100.3	99.8	99.8	99.5	101.8	1.7	1.3		
	綾川町	綾川町中心部	256.3	24,625	3,211	12.5	13.0	0.3	23,610	3,254	12.7	13.8	0.3	95.9	101.3	101.3	105.7	103.4	3.3	2.9		
	丸亀市	旧飯山町中心部	279.1	110,473	5,606	20.2	5.1	0.6	110,010	5,606	20.2	5.1	0.6	99.6	99.2	99.2	99.8	101.2	1.2	0.8		
	丸亀市	旧綾歌町中心部	128.1	110,473	1,153	9.0	1.0	0.1	110,010	1,158	9.0	1.1	0.1	99.6	100.4	100.4	100.9	102.5	2.4	2.0		
	まんのう町	旧満濃町中心部	140.2	19,087	1,916	13.7	10.0	0.2	18,377	1,984	14.1	10.8	0.2	96.3	103.5	103.5	107.5	105.6	5.5	5.1		
	観音寺市	旧志度町中心部	246.7	62,690	4,090	16.6	6.5	0.4	59,409	3,815	15.5	6.4	0.4	94.8	93.3	93.3	98.4	95.1	△ 4.8	△ 5.2		
	三豊市	旧仁尾町中心部	223.7	68,512	3,435	15.4	5.0	0.3	65,524	3,212	14.4	4.9	0.3	95.6	93.5	93.5	97.8	95.4	△ 4.5	△ 4.9		
	三豊市	旧豊中町中心部	212.3	68,512	2,300	10.8	3.4	0.2	65,524	2,223	10.5	3.4	0.2	95.6	96.6	96.6	101.0	98.6	△ 1.4	△ 1.8		
	三豊市	旧松岡町中心部	225.7	68,512	4,095	18.1	6.0	0.4	65,524	3,946	17.5	6.0	0.4	95.6	96.4	96.4	100.8	98.3	△ 1.7	△ 2.1		
	三豊市	旧三野町中心部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
コミュニティ拠点	土庄町	土庄町中心部	254.9	15,123	6,135	24.1	40.6	0.6	14,002	5,886	23.1	42.0	0.6	92.6	95.9	95.9	103.6	97.9	△ 2.1	△ 2.5		
	小豆島町	旧内海町中心部	228.8	16,152	4,926	21.5	30.5	0.5	14,862	4,572	20.0	30.8	0.5	92.0	92.8	92.8	100.9	94.7	△ 5.2	△ 5.7		
	さぬき市	旧津田町中心部	178.1	53,000	2,888	16.2	5.4	0.3	50,272	2,685	15.1	5.3	0.3	94.9	93.0	93.0	98.0	94.8	△ 5.1	△ 5.5		
	さぬき市	旧長尾町中心部	374.3	53,000	4,349	11.6	8.2	0.4	50,272	4,303	11.5	8.6	0.4	94.9	98.9	98.9	104.3	100.9	0.9	0.5		
	さぬき市	旧寒川町中心部	336.1	53,000	2,782	8.3	5.2	0.3	50,272	2,688	8.0	5.3	0.3	94.9	96.6	96.6	101.9	98.6	△ 1.4	△ 1.8		
	さぬき市	旧大川町中心部	311.3	53,000	2,130	6.8	4.0	0.2	50,272	1,923	6.2	3.8	0.2	94.9	90.3	90.3	95.2	92.1	△ 7.8	△ 8.2		
	東かがわ市	旧白鳥町中心部	180.3	33,625	3,728	20.7	11.1	0.4	31,031	3,465	19.2	11.2	0.4	92.3	92.9	92.9	100.7	94.8	△ 5.1	△ 5.5		
	東かがわ市	旧引田町中心部	138.7	33,625	2,911	21.0	8.7	0.3	31,031	2,667	19.2	8.6	0.3	92.3	91.6	91.6	99.3	93.4	△ 6.4	△ 6.9		
	香川県合計	香川県合計	16,048.0	995,842	474,828	29.6	47.7	47.7	976,263	467,529	29.1	47.9	47.9	98.0	98.5	98.5	100.4	100.4	0.4	—		

※1 高松市南部地区は、「三条駅周辺地区」「林道駅周辺地区」「太田駅周辺地区」「仏生山駅周辺地区」「一宮・円座駅周辺地区」で構成される

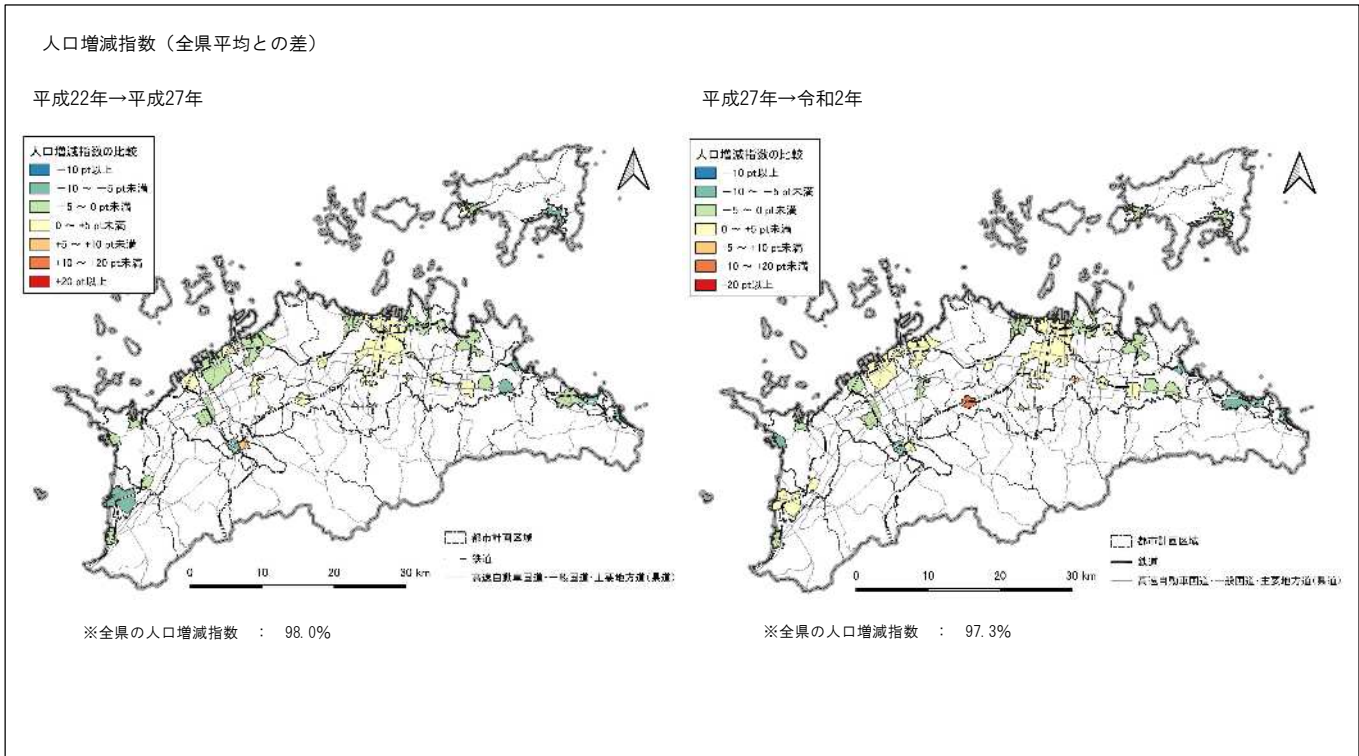
都市・地域経営	集約拠点内人口	(使用データ) 国勢調査小地域別集計(平成22年、平成27年、令和2年)を用いて各集約拠点(圏域ブロック)内人口を集計。小地域が集約拠点界をまたぐ場合は、平成29年度又は令和4年度の都市計画基礎調査の建物用途別現況データを用いて、住宅系建物の延べ面積の比率で内外を按分した。
---------	---------	---

- ・集約拠点内人口は、平成27年から令和2年の5年間で2.0%減少した一方で、対市町構成比は0.7%上昇し、人口が減少している中でも集約拠点への人口集約の傾向が見られる(令和3年に新規追加となった旧高瀬町中心部・旧三野町中心部を除いて算出)。
- ・集約拠点別の人口密度では、広域拠点の高松市中心市街地周辺が67.8人/haで最も高い。地域拠点では高松市南部が46.0人/haで最も高く、旧大内中心部が12.4人/haで最も低い。コミュニティ拠点では川添地区中心部が35.1人/haで最も高く、旧大川町中心部が5.7人/haで最も低いなど、拠点により差がある。
- ・対市町構成比の増減指数は、旧綾南町中心部が111.8で最も高く、香川地区中心部が89.1で最も低くなっている。

集約拠点内人口の推移（平成27年→令和2年）																						
市町	集約拠点地区	集約拠点面積 (ha)	平成27年						令和2年						5年間の増減指数（平成27年=100.0）						人口増減指数の全体平均値との差（ポイント）	
			国勢調査市町別人口		集約拠点		国勢調査市町別人口		集約拠点		国勢調査市町別人口	集約拠点人口	集約拠点人口密度	対市町構成比	対県構成比	香川県全体の人口増減指数との差	全県集約拠点（三野・高瀬除く）の平均増減指数との差					
			人口（人）	人口密度（人／ha）	人口（人）	人口密度（人／ha）	人口（人）	人口密度（人／ha）	人口（人）	人口密度（人／ha）												
			対市町	対県	対市町	対県	対市町	対県	対市町	対県												
広域拠点	高松市	高松市中心市街地周辺	918.1	420,748	63,571	69.2	15.1	6.5	417,496	62,252	67.8	14.9	6.6	99.2	97.9	98.7	100.6	0.6	△ 0.1	0.6	△ 0.1	
	高松市	高松市南部地区※1	2,758.2	420,748	126,499	45.9	30.1	13.0	417,496	126,932	46.0	30.4	13.4	99.2	100.3	100.3	101.1	103.1	3.0	2.3	3.0	2.3
	高松市	海元駅周辺地区	727.7	420,748	31,014	42.6	7.4	3.2	417,496	29,425	40.4	7.0	3.1	99.2	94.9	94.9	95.6	97.5	△ 2.5	△ 3.0	△ 2.5	△ 3.0
	高松市	香西地区中心部	473.6	420,748	15,541	32.8	3.7	1.6	417,496	15,089	31.9	3.6	1.6	99.2	97.1	97.1	97.9	99.8	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.9
	三木町	平野岡周辺地区	221.4	27,684	5,052	22.8	18.2	0.5	26,878	4,977	22.5	18.5	0.5	97.1	98.5	98.5	101.5	101.2	1.2	0.5	1.2	0.5
	坂井市	坂井市中心部	1,053.5	53,154	26,680	25.3	50.2	2.7	50,624	26,430	25.1	52.2	2.8	95.2	99.1	99.1	104.0	101.8	1.7	1.0	1.7	1.0
	丸亀市	丸亀市中心部	1,430.2	110,010	43,546	30.4	40.6	4.5	109,513	43,978	40.6	42.8	4.6	99.5	101.0	101.0	103.8	101.4	3.7	3.0	3.7	3.0
	多度津町	多度津町中心部	305.8	18,952	13,282	43.4	70.1	1.4	18,699	12,923	42.3	69.1	1.4	98.7	97.3	97.3	98.3	98.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0
	多度津町	多度津町中心部	625.0	23,366	12,093	26.4	51.8	1.2	22,445	11,631	25.4	51.8	1.2	96.1	96.2	96.2	100.1	98.8	△ 1.2	△ 1.8	△ 1.2	△ 1.8
	普請寺町	普請寺町中心部	468.4	32,927	12,082	19.3	36.7	1.2	31,631	11,411	18.2	36.1	1.2	96.1	94.5	94.5	98.5	97.0	△ 2.9	△ 3.6	△ 2.9	△ 3.6
	早平町	早平町中心部	241.6	9,186	5,312	22.0	57.8	0.5	8,468	4,900	20.3	57.9	0.5	92.2	92.2	92.2	100.1	94.8	△ 5.1	△ 5.8	△ 5.1	△ 5.8
	観音寺町	旧観音寺町中心部	981.5	59,409	19,702	19.1	31.5	1.9	57,438	18,253	18.6	31.8	1.9	96.7	97.6	97.6	99.9	100.3	0.3	△ 0.4	0.3	△ 0.4
	おさき市	旧豊原町中心部	734.6	50,272	13,412	18.3	26.7	1.4	47,903	12,940	17.5	27.3	1.4	93.5	95.7	95.7	102.4	98.4	△ 1.6	△ 2.3	△ 1.6	△ 2.3
	あまがわ市	旧大内町中心部	625.3	31,331	9,422	13.5	27.1	0.9	29,779	7,721	12.4	27.3	0.9	91.1	91.8	91.8	100.7	94.3	△ 5.5	△ 6.2	△ 5.5	△ 6.2
	高松市	旧高松市中心部	104.7	—	—	—	—	—	61,857	1,667	15.9	2.7	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域拠点	高松市	川島地区中心部	70.6	420,748	1,853	26.3	0.4	0.2	417,496	1,901	26.9	0.5	0.2	99.2	102.6	102.6	103.4	105.4	5.2	4.6	5.2
高松市		川邊地区中心部	85.2	420,748	2,968	34.8	0.7	0.3	417,496	2,992	35.1	0.7	0.3	99.2	100.8	100.8	101.6	103.6	3.5	2.8	3.5	2.8
高松市		牟礼地区中心部	213.0	420,748	5,440	25.5	1.3	0.6	417,496	5,441	25.5	1.3	0.6	99.2	100.0	100.0	100.8	102.8	2.7	2.0	2.7	2.0
高松市		香川地区中心部	97.5	420,748	1,890	19.4	0.4	0.2	417,496	1,671	17.1	0.4	0.2	99.2	88.4	88.4	89.1	90.8	△ 8.9	△ 9.6	△ 8.9	△ 9.6
高松市		香南地区中心部	55.0	420,748	841	15.3	0.2	0.1	417,496	893	16.2	0.2	0.1	99.2	106.1	106.1	106.8	109.0	8.8	8.1	8.8	8.1
高松市		旧分岐地区中心部	257.1	420,748	9,143	23.1	1.4	0.4	417,496	6,007	14.2	0.6	0.2	99.2	101.1	101.1	102.1	103.4	2.3	1.4	2.3	1.4
綾川町		綾川町中心部	256.3	23,610	3,254	12.7	13.8	0.3	22,693	4,896	13.6	15.4	0.4	96.1	107.4	107.4	111.8	110.4	10.1	9.4	10.1	9.4
丸亀市		旧坂町中心部	279.1	110,010	5,606	20.1	5.1	0.6	109,513	5,368	19.2	4.9	0.6	99.5	95.8	95.8	96.2	98.4	△ 1.6	△ 2.3	△ 1.6	△ 2.3
丸亀市		旧綾歌町中心部	128.1	110,010	1,158	9.0	1.1	0.1	109,513	1,095	8.5	1.0	0.1	99.5	94.6	94.6	95.0	97.1	△ 2.8	△ 3.5	△ 2.8	△ 3.5
まんのう町		旧湊町中心部	140.2	18,377	1,994	14.1	10.8	0.2	17,401	2,005	14.3	11.5	0.2	94.7	101.1	101.1	106.7	103.8	3.7	3.1	3.7	3.1
観音寺町		旧香南町中心部	246.7	59,409	3,815	15.5	6.4	0.4	57,438	3,572	14.5	6.2	0.4	96.7	93.6	93.6	96.9	96.2	△ 3.7	△ 4.4	△ 3.7	△ 4.4
三豊市		旧高松市中心部	223.7	65,524	3,212	14.4	4.9	0.3	61,857	2,928	13.4	4.9	0.3	94.7	91.3	91.3	92.7	93.3	△ 1.3	△ 6.3	△ 1.3	△ 6.3
三豊市		旧豊中町中心部	225.7	65,524	2,123	10.5	3.3	0.2	61,857	1,712	10.2	3.5	0.2	94.4	97.7	97.7	103.5	100.4	0.4	△ 0.3	0.4	△ 0.3
三豊市		旧松尾町中心部	226.7	65,524	3,946	17.5	6.0	0.4	61,857	3,697	16.4	6.0	0.4	94.4	93.7	93.7	99.2	96.2	△ 3.7	△ 4.3	△ 3.7	△ 4.3
三豊市		旧三野町中心部	254.9	—	—	—	—	—	61,857	2,500	11.7	4.0	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土庄町		土庄町中心部	254.9	14,002	5,886	23.1	42.0	0.6	12,846	5,516	21.6	42.9	0.6	91.7	93.7	93.7	102.1	96.3	△ 3.6	△ 4.3	△ 3.6	△ 4.3
小豆島町	旧内海町中心部	228.8	14,862	2,452	20.0	30.8	0.5	13,870	4,239	18.5	30.6	0.4	93.3	92.7	92.7	99.3	95.3	△ 4.6	△ 5.3	△ 4.6	△ 5.3	
おさき市	旧津田町中心部	178.1	50,272	2,685	15.1	5.3	0.3	47,903	2,409	13.5	5.1	0.3	93.5	89.7	89.7	96.0	92.2	△ 7.6	△ 8.3	△ 7.6	△ 8.3	
おさき市	旧長瀬町中心部	374.3	50,272	3,293	11.5	8.6	0.3	47,903	2,954	9.1	8.6	0.3	93.5	91.4	91.4	95.8	101.6	△ 6.3	△ 6.9	△ 6.3	△ 6.9	
おさき市	旧高川町中心部	336.1	50,272	2,998	8.0	3.3	0.3	47,903	2,564	7.6	5.5	0.3	93.5	95.4	95.4	102.0	98.0	△ 2.0	△ 2.7	△ 2.0	△ 2.7	
おさき市	旧大川町中心部	311.3	50,272	1,923	6.2	3.8	0.2	47,903	1,784	5.7	3.8	0.2	93.5	92.8	92.8	99.3	95.3	△ 4.5	△ 5.2	△ 4.5	△ 5.2	
あまがわ市	旧白鳥町中心部	180.3	31,031	3,465	19.2	11.2	0.4	28,279	3,109	17.2	11.0	0.3	91.1	89.7	89.7	98.4	92.2	△ 7.6	△ 8.3	△ 7.6	△ 8.3	
あまがわ市	旧引田町中心部	138.7	31,031	2,667	19.2	8.6	0.3	28,279	2,363	17.0	8.4	0.2	91.1	88.6	88.6	97.2	91.0	△ 8.7	△ 9.4	△ 8.7	△ 9.4	
コミュニティ拠点	香川県合計	16,366.9	976,263	467,529	28.6	47.9	47.9	950,244	462,416	28.3	48.7	48.7	97.3	98.9	98.9	101.6	101.6	1.6	—	—	—	
	香川県合計（高瀬・三野を除く）	16,048.0	976,263	467,529	29.1	47.9	47.9	950,244	458,249	28.6	48.2	48.2	97.3	98.0	98.0	100.7	100.7	0.7	—	—	—	

都市・地域経営	拠点内人口 (人口増減)	(使用データ) 国勢調査小地域別集計(平成27年)、国勢調査基本単位区集計(令和2年)を用いて各集約拠点内人口を集計。小地域や基本単位区が集約拠点界をまたぐ場合は、平成29年度又は令和4年度の都市計画基礎調査の建物用途別現況データを用いて、住宅系建物の延べ面積の比率で内外を按分した。
---------	-----------------	--

各拠点における人口増減指数と、全県の人口増減指数とのポイント差を示す。



14

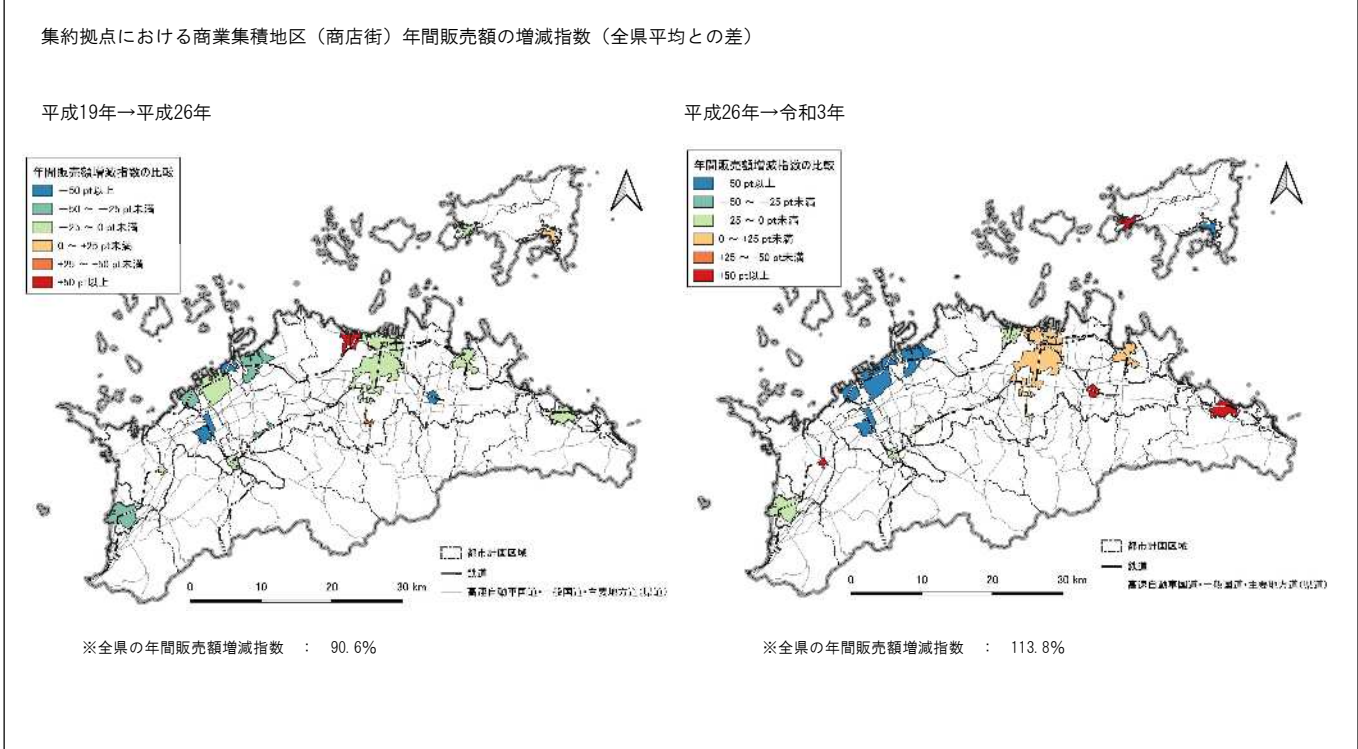
地域活性化	年間商品販売額	(使用データ) 平成26年商業統計調査、令和3年経済センサス活動調査の立地環境特性編・商業集積地区(商店街)集計から、各集約拠点内に立地する商店街等商業施設(小売業)の年間商品販売額を集計
-------	---------	--

- ・集約拠点別の小売業年間商品販売額は、**高松市中心市街地周辺地区**の額が圧倒的に高く、令和3年には**年間990億円**に達している。高松市以外の市町では、観音寺市の旧観音寺市中心部、三豊市の旧高瀬町中心部等、高松市から離れた地域の集約拠点での販売額が高い傾向にある。
- ・**全県に対する構成比**は、平成19年から平成26年にかけて低下したが、**令和3年には5.57%**とやや持ち直している。
- ・販売額の増減指数は、平成19年からの令和3年までの14年間に**全集約拠点合計で72.0(28.0%減)**となっているが、**拠点によって極端な増加または極端な減少**が見られ、調査対象となるショッピングセンターや商店街の新設・撤退による影響が大きいものと考えられる。

集約拠点別小売業年間商品販売額の推移																				
	市町	集約拠点地区	平成19年商業統計調査				平成26年商業統計調査				令和3年経済センサス活動調査				H26→R03の変化			H19→R03の変化		
			小売業年間商品販売額 (百万円)		構成比 (%)		小売業年間商品販売額 (百万円)		構成比 (%)		小売業年間商品販売額 (百万円)		構成比 (%)		販売額の 増減指数	県全体と の差	集約拠点 平均との 差	販売額の 増減指数	県全体と の差	集約拠点 平均との 差
			拠点地区	市町	対市町	対香川県	拠点地区	市町	対市町	対香川県	拠点地区	市町	対市町	対香川県						
広域拠点	高松市	高松市中心市街地周辺地区	125,644	2,850,765	4.41	3.16	80,223	518,939	15.46	2.63	99,017	611,570	16.19	3.05	123.4	16.6	8.7	63.8	△ 17.8	△ 8.1
地域拠点	高松市	高松市南部地区	57,883	2,850,765	2.03	1.45	36,955	518,939	7.12	1.21	44,540	611,570	7.28	1.37	120.5	13.7	5.8	76.9	△ 4.7	5.0
	高松市	香西地区中心部	1,074	2,850,765	0.04	0.03	9,764	518,939	1.88	0.32	8,603	611,570	1.41	0.26	88.1	△ 18.7	△ 26.6	801.0	719.3	729.1
	三木町	平木駅周辺地区	2,401	24,815	9.68	0.06	482	19,409	2.48	0.02	2,193	21,570	10.17	0.07	455.0	348.2	340.3	91.3	9.7	19.4
	丸亀市	旧丸亀市中心部	3,830	207,810	1.84	0.10	2,423	122,777	1.97	0.08	852	121,019	0.70	0.03	35.2	△ 71.6	△ 79.5	22.2	△ 59.4	△ 49.7
	宇多津町	宇多津町中心部	6,848	94,050	7.28	0.17	569	25,684	2.22	0.02	299	32,532	0.92	0.01	52.5	△ 54.2	△ 62.2	4.4	△ 77.3	△ 67.6
	多度津町	多度津町中心部	3,275	40,853	8.02	0.08	1,503	12,473	12.05	0.05	696	12,521	5.56	0.02	46.3	△ 60.5	△ 68.4	21.3	△ 60.4	△ 50.7
	普通寺市	普通寺市中心部	6,591	67,930	9.70	0.17	912	24,453	3.73	0.03	492	31,121	1.58	0.02	53.9	△ 52.8	△ 60.8	7.5	△ 74.2	△ 64.5
	琴平町	琴平町中心部	3,632	15,604	23.28	0.09	2,099	5,570	37.68	0.07	1,960	5,057	38.76	0.06	93.4	△ 13.4	△ 21.3	54.0	△ 27.7	△ 18.0
	坂出市	坂出市中心部	13,091	174,553	7.50	0.33	5,431	48,449	11.21	0.18	307	48,446	0.63	0.01	5.7	△ 101.1	△ 109.1	2.3	△ 79.3	△ 69.6
	観音寺市	旧観音寺市中心部	10,268	184,695	5.56	0.26	3,948	61,204	6.45	0.13	3,806	59,963	6.35	0.12	96.4	△ 10.4	△ 18.3	37.1	△ 44.6	△ 34.9
	さぬき市	旧志度町中心部	1,817	68,625	2.65	0.05	1,028	32,576	3.16	0.03	1,372	33,323	4.12	0.04	133.5	26.7	18.8	75.5	△ 6.2	3.5
	東かがわ市	旧大内町中心部	2,218	52,662	4.21	0.06	1,564	23,849	6.56	0.05	2,671	25,117	10.63	0.08	170.8	64.0	56.1	120.4	38.7	48.5
	三豊市	旧高瀬町中心部	859	83,035	1.03	0.02	625	43,949	1.42	0.02	3,660	51,089	7.16	0.11	585.6	478.8	470.9	426.1	344.4	354.1
	コミュニ ティ拠点	高松市	香川地区中心部	3,241	2,850,765	0.11	0.08	3,634	518,939	0.70	0.12	3,983	611,570	0.65	0.12	109.6	2.8	△ 5.1	122.9	41.2
丸亀市		旧綾歌町中心部	3,058	207,810	1.47	0.08	1,233	122,777	1.00	0.04	1,298	121,019	1.07	0.04	105.3	△ 1.5	△ 9.4	42.4	△ 39.2	△ 29.5
土庄町		土庄町中心部	1,871	22,685	8.25	0.05	1,394	15,131	9.21	0.05	3,015	17,131	17.60	0.09	216.3	109.5	101.6	161.1	79.5	89.2
小豆島町		旧内海町中心部	4,192	21,543	19.46	0.11	4,182	9,273	45.10	0.14	2,431	7,213	33.70	0.07	58.1	△ 48.7	△ 56.6	58.0	△ 23.7	△ 14.0
全集約拠点合計			251,793	—	—	6.33	157,969	—	—	5.19	181,195	—	—	5.57	114.7	—	—	72.0	—	—
香 川 県 計			3,980,519	—	—	—	3,044,683	—	—	—	3,251,485	—	—	—	106.8	—	—	81.7	—	—

15

各拠点における商業集積地区(商店街)年間販売額の増減指数と、全県の年間商品販売額増減指数とのポイント差を示す。



・平成29年から令和4年までの5年間の駅間OD量の変化を見ると、増減指数が86.2（13.8%の減少）となっており、トリップの総量を示す駅間OD量×移動距離は増減係数が85.4（14.6%の減少）となっている。これらの減少については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいと考えられる。

・券種別に見ると、駅間OD量・駅間OD量×移動距離ともに普通乗車券での減少幅が大きい。

・平成29年から令和4年までの5年間の平均移動距離を見ると、普通乗車券を利用した集約拠点の「内-外」の移動以外は、移動距離が短縮する傾向が見られている。全体では、増減指数が99.1（0.9%の短縮）となっており、居住や通勤・通学先の集約傾向が表われていると考えられる。

駅間OD量の推移

(人)

		H24	H29	R04	H29→R04 増減指数	H24→R04 増減指数
普通乗車券	内-内	2,823,032	2,842,614	2,314,435	81.4	82.0
	内-外	280,112	294,235	224,266	76.2	80.1
	外-外	5,230	5,773	3,523	61.0	67.4
	計	3,108,374	3,142,622	2,542,224	80.9	81.8
定期券	内-内	4,015,548	4,097,855	3,695,321	90.2	92.0
	内-外	653,137	630,720	543,029	86.1	83.1
	外-外	12,958	5,475	5,445	99.4	42.0
	計	4,681,642	4,734,050	4,243,794	89.6	90.6
合計	内-内	6,838,580	6,940,469	6,009,756	86.6	87.9
	内-外	933,249	924,955	767,295	83.0	82.2
	外-外	18,188	11,248	8,968	79.7	49.3
	計	7,790,016	7,876,672	6,786,018	86.2	87.1

駅間OD量×移動距離の推移

(人・km)

		H24	H29	R04	H29→R04 増減指数	H24→R04 増減指数
普通乗車券	内-内	50,175,378	49,578,078	39,833,220	80.3	79.4
	内-外	3,993,904	4,094,822	3,174,264	77.5	79.5
	外-外	45,624	50,544	30,452	60.2	66.7
	計	54,214,905	53,723,444	43,037,936	80.1	79.4
定期券	内-内	79,507,819	78,783,279	70,075,635	88.9	88.1
	内-外	10,550,809	10,127,062	8,654,329	85.5	82.0
	外-外	123,212	50,723	49,071	96.7	39.8
	計	90,181,840	88,961,064	78,779,036	88.6	87.4
合計	内-内	129,683,197	128,361,357	109,908,855	85.6	84.8
	内-外	14,544,712	14,221,884	11,828,593	83.2	81.3
	外-外	168,836	101,267	79,523	78.5	47.1
	計	144,396,745	142,684,507	121,816,972	85.4	84.4

平均移動距離

(km)

		H24	H29	R04	H29→R04 増減指数	H24→R04 増減指数
普通乗車券	内-内	17.8	17.4	17.2	98.7	96.8
	内-外	14.3	13.9	14.2	101.7	99.3
	外-外	8.7	8.8	8.6	98.7	99.1
	計	17.4	17.1	16.9	99.0	97.1
定期券	内-内	19.8	19.2	19.0	98.6	95.8
	内-外	16.2	16.1	15.9	99.3	98.7
	外-外	9.5	9.3	9.0	97.3	94.8
	計	19.3	18.8	18.6	98.8	96.4
合計	内-内	19.0	18.5	18.3	98.9	96.4
	内-外	15.6	15.4	15.4	100.3	98.9
	外-外	9.3	9.0	8.9	98.5	95.5
	計	18.5	18.1	18.0	99.1	96.8

内-内：集約拠点内に立地する駅同士のトリップ
内-外：集約拠点内の駅と、集約拠点外の駅のトリップ
外-外：集約拠点外に立地する駅同士のトリップ

※ODデータは起点・終点の区別が無いため、「内-外」と「外-内」は区別されていない。
※前頁までの駅別集計表では、例えば「高松一坂出」間は高松駅と坂出駅のそれぞれで計上しているが、ここでは重複しないよう計上しているため、全体の合計値は駅別集計表とは異なる
※周遊券等は除外

18

交通網
利便性

アクセシビリティ・公共交通カバーエリア

（使用データ）国勢調査小地域別集計（平成27年）、国勢調査基本単位区集計（令和2年）を用いて各駅勢圏内人口を集計。小地域や基本単位区が駅勢圏界をまたぐ場合は、平成29年度又は令和4年度の都市計画基礎調査の建物用途別現況データを用いて、住宅系建物の延べ面積の比率で内外を按分した。

・広域拠点（高松駅）から30分圏域の人口カバー率は、鉄道のみ、バスのみ、鉄道+バス、それぞれで上昇している。

■公共交通利用圏内人口カバー率（高松駅から30分圏域）

	H22		H27		R02		H27→R02 増減ポイント	H22→R02 増減ポイント
	人口(人)	カバー率	人口(人)	カバー率	人口(人)	カバー率		
香川県	995,842	—	976,263	—	950,244	—	—	—
鉄道のみ	243,202	24.4%	246,315	25.2%	255,475	26.9%	1.7%	2.5%
バスのみ	146,756	14.7%	163,710	16.8%	166,075	17.5%	0.7%	2.7%
鉄道+バス	290,980	29.2%	287,949	29.5%	323,170	34.0%	4.5%	4.8%

※端数処理の都合で、見かけ上の誤差が出る場合がある
※駅勢圏：半径800m、バス勢圏：半径300m
※H22は算出方法が異なるため、H27、R02との単純比較は出来ない

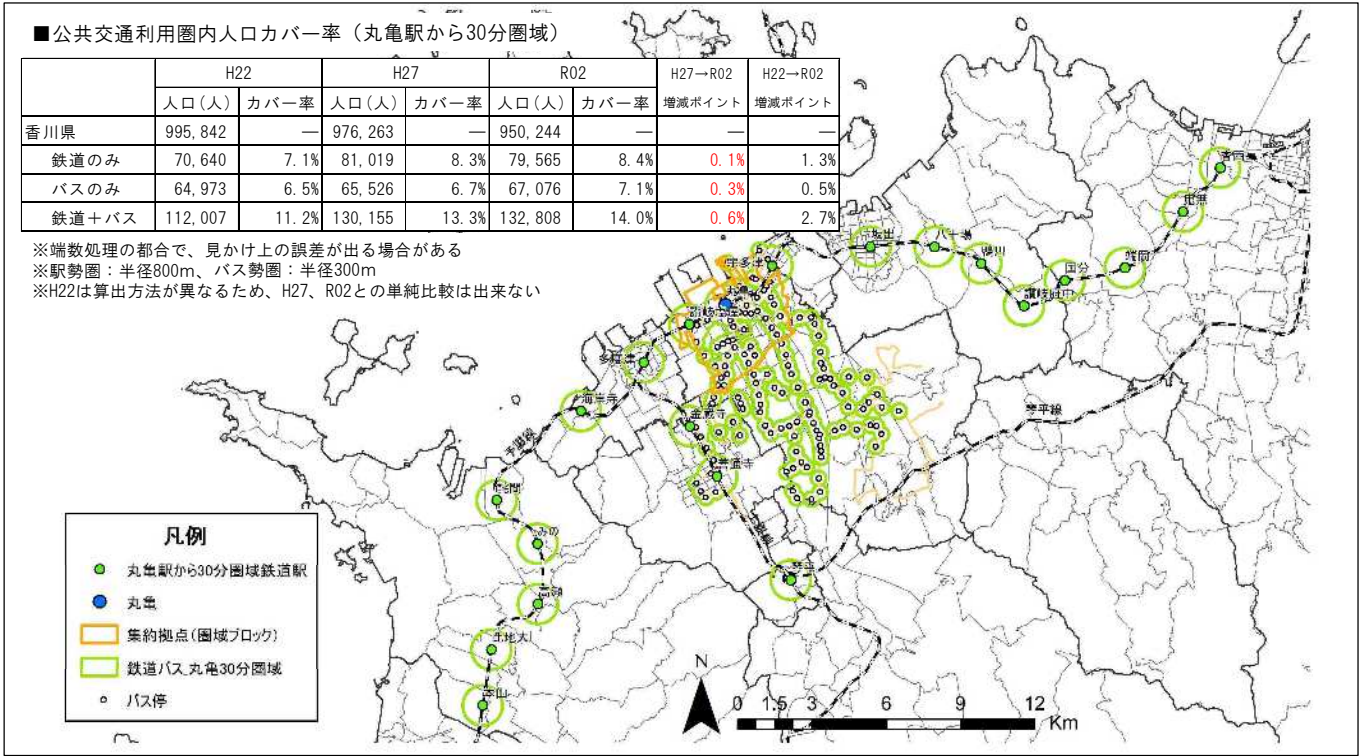
凡例

- 高松築港
- 高松
- 高松駅から30分圏域鉄道駅
- 集約拠点(圏域ブロック)
- 鉄道バス高松30分圏域
- バス停

19

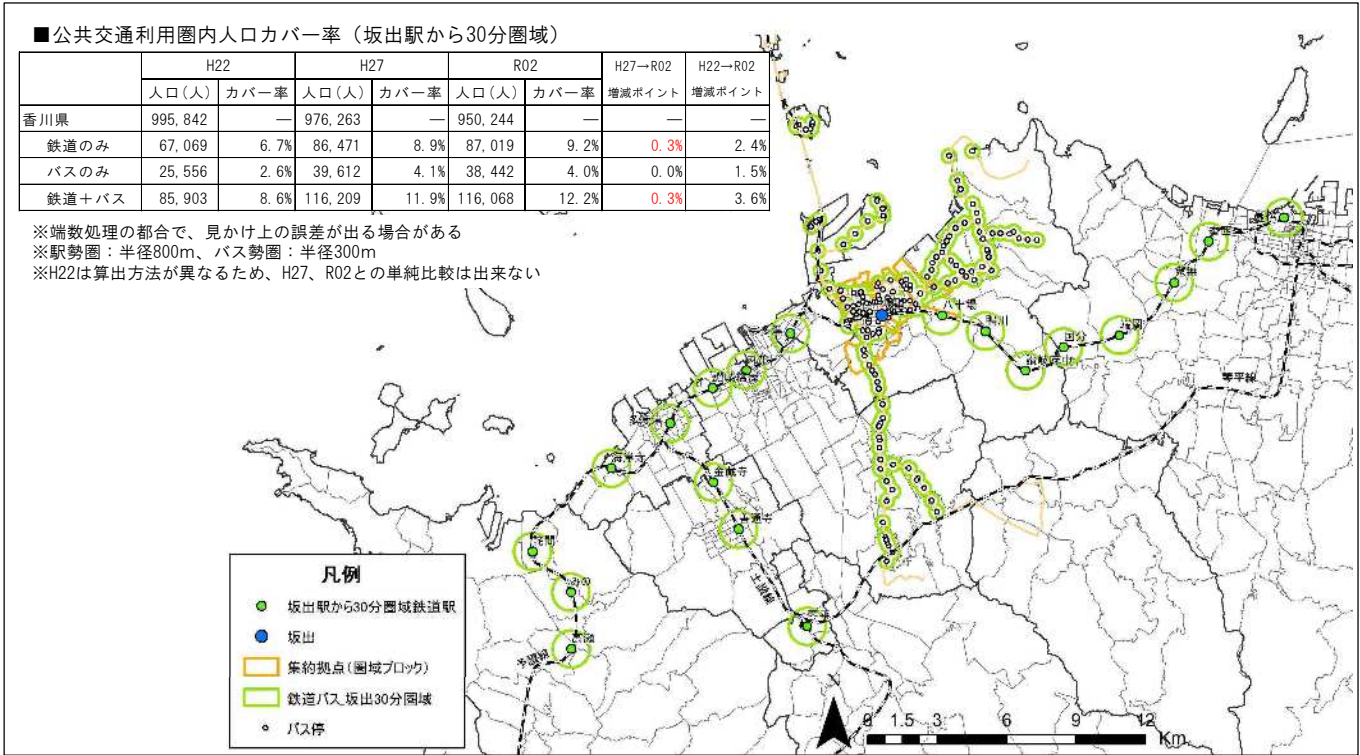
交通網 利便性	アクセシビリティ・ 公共交通カバーエリア	(使用データ) 国勢調査小地域別集計(平成27年)、国勢調査基本単位区集計(令和2年)を用いて各駅勢圏内人口を集計。小地域や基本単位区が駅勢圏界をまたぐ場合は、平成29年度又は令和4年度の都市計画基礎調査の建物用途別現況データを用いて、住宅系建物の延べ面積の比率で内外を按分した。
--------------------	---------------------------------	--

・丸亀市中心部地域拠点（丸亀駅）から30分圏域の人口カバー率は、**鉄道のみ**、**バスのみ**、**鉄道＋バス**、それぞれでわずかな上昇傾向を示している。



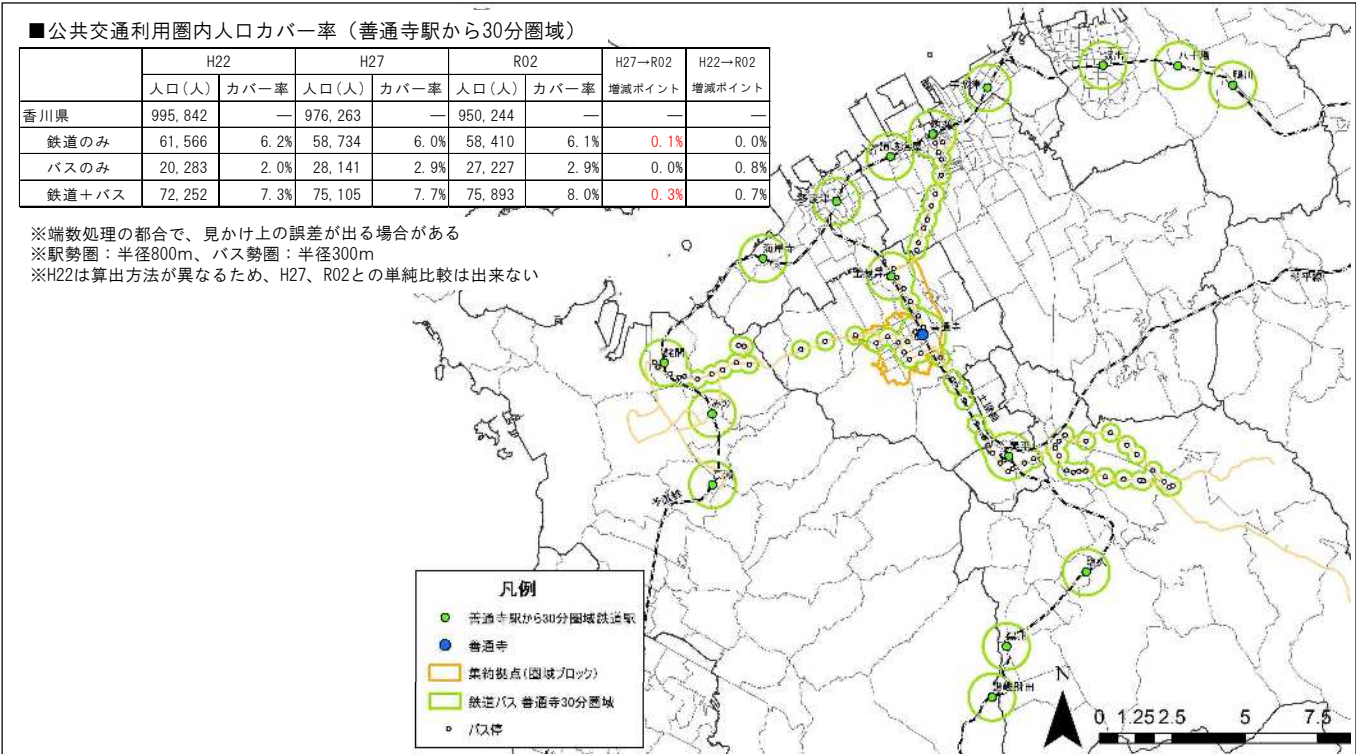
交通網 利便性	アクセシビリティ・ 公共交通カバーエリア	(使用データ) 国勢調査小地域別集計(平成27年)、国勢調査基本単位区集計(令和2年)を用いて各駅勢圏内人口を集計。小地域や基本単位区が駅勢圏界をまたぐ場合は、平成29年度又は令和4年度の都市計画基礎調査の建物用途別現況データを用いて、住宅系建物の延べ面積の比率で内外を按分した。
--------------------	---------------------------------	--

・坂出市中心部地域拠点（坂出駅）から30分圏域の人口カバー率は、**鉄道のみ**、**鉄道＋バス**でわずかな上昇傾向を示している。



交通網 利便性	アクセシビリティ・ 公共交通カバーエリア	(使用データ) 国勢調査小地域別集計(平成27年)、国勢調査基本単位区集計(令和2年)を用いて各駅勢圏内人口を集計。小地域や基本単位区が駅勢圏界をまたぐ場合は、平成29年度又は令和4年度の都市計画基礎調査の建物用途別現況データを用いて、住宅系建物の延べ面積の比率で内外を按分した。
--------------------	---------------------------------	--

・普通寺市中心部地域拠点（普通寺駅）から30分圏域の人口カバー率は、バスのみは概ね横ばい、**鉄道のみ、鉄道+バス**でわずかな上昇傾向を示している。



22

交通網 利便性	通勤時間が30分以内 の世帯割合	(使用データ) 住宅・土地統計調査（H25、H30、H05）データから、家計を主に支える者の通勤時間が30分以内の世帯の割合を算出
--------------------	-----------------------------	---

・通勤時間が30分以内の世帯割合が最も高いのは、**多度津町が75.4%**、次いで**観音寺市が74.8%**であり、最も低いのは**綾川町の56.5%**である。
・平成30年から令和5年までの5年間の変化を見ると、増減ポイントが最も増加しているのは**多度津町の6.9**、次いで**まんのう町の6.4**であり、最も減少しているのは**三木町の-7.7**である。

通勤時間が30分以内の世帯割合

	H25			H30			R05			H30→R05 増減ポイント	H25→R05 増減ポイント
	総世帯数	30分以内 の世帯	割合	総世帯数	30分以内 の世帯	割合	総世帯数	30分以内 の世帯	割合		
高松市	79,590	56,260	70.7%	89,150	62,700	70.3%	71,900	47,770	66.4%	-3.9	-4.2
丸亀市	19,960	13,710	68.7%	20,260	13,950	68.9%	18,770	12,500	66.6%	-2.3	-2.1
坂出市	9,340	6,320	67.7%	7,580	5,150	67.9%	8,660	5,800	67.0%	-1.0	-0.7
普通寺市	6,410	4,820	75.2%	5,780	4,090	70.8%	5,560	3,980	71.6%	0.8	-3.6
観音寺市	10,740	8,100	75.4%	8,760	6,420	73.3%	9,260	6,930	74.8%	1.6	-0.6
さぬき市	8,260	5,120	62.0%	8,080	4,860	60.1%	7,290	4,660	63.9%	3.8	1.9
東かがわ市	5,250	3,580	68.2%	5,050	3,670	72.7%	4,220	2,940	69.7%	-3.0	1.5
三豊市	10,840	7,690	70.9%	10,660	7,350	68.9%	9,370	6,910	73.7%	4.8	2.8
三木町	4,940	2,830	57.3%	4,880	3,170	65.0%	4,560	2,610	57.2%	-7.7	-0.1
宇多津町	3,550	2,710	76.3%	3,320	2,320	69.9%	4,150	2,820	68.0%	-1.9	-8.4
綾川町	3,780	1,990	52.6%	3,440	1,840	53.5%	3,290	1,860	56.5%	3.0	3.9
多度津町	3,450	2,310	67.0%	4,060	2,780	68.5%	3,860	2,910	75.4%	6.9	8.4
まんのう町	2,800	1,490	53.2%	2,860	1,640	57.3%	2,950	1,880	63.7%	6.4	10.5
合計	168,910	116,930	69.2%	173,880	119,940	69.0%	153,840	103,570	67.3%	-1.7	-1.9

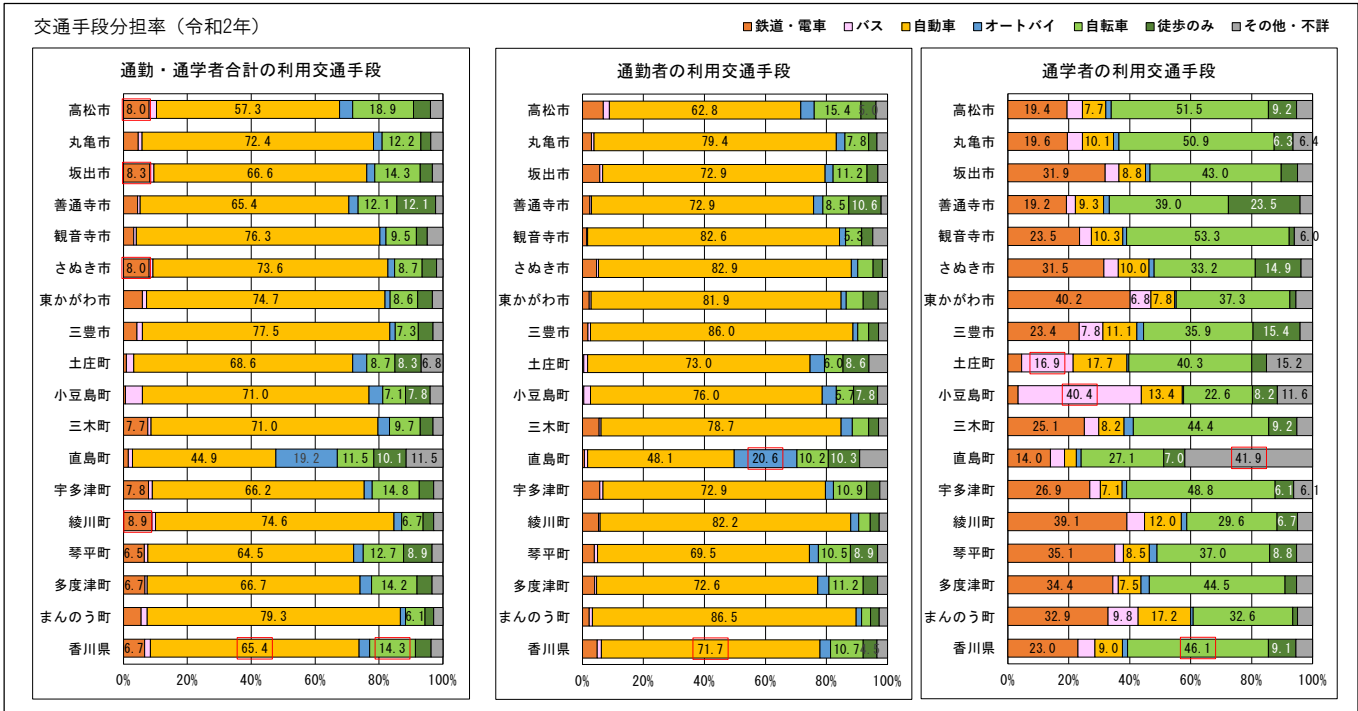
※「自宅・住み込み」は除く
※土庄町、小豆島町、直島町、琴平町はデータなし

23

・通勤・通学時の交通手段分担率を、県全体の通勤・通学者の合計で見ると、「自動車」の利用が65.4%で最も高く、次いで「自転車」が14.3%を占める。「鉄道・バス」は全体的に低いが、高松市、坂出市、さぬき市、綾川町等、主要鉄道沿線の市町では1割近くを占め、比較的高い。

・通勤者の交通手段は、「自動車」が71.7%で圧倒的に高いが、直島町では「オートバイ」が2割以上を占めている。

・通学者の交通手段は、県全域では「自転車」が46.1%で最も高い。また、直島町では「その他」(船と考えられる)、土庄町・小豆島町では「バス」が高く、島しょ部はそれぞれの特徴を示している。



24

・交通手段分担率の増減(平成22年→令和2年)を見ると、全体的に自動車が増加傾向となり、オートバイ・自転車が減少傾向となっている。

・通勤では、高松市・東かがわ市・土庄町・小豆島町・三木町等で特に自動車の増加が見られる。

・通学では、全体的に自転車の減少が目立っており、さぬき市・直島町・宇多津町等では鉄道への転換、土庄町・小豆島町等ではバスへの転換が見られる。

交通手段分担率の増減ポイント (平成22年→令和2年)									
	通勤・通学者合計								
	鉄道・電車	バス	自動車	オートバイ	自転車	徒歩のみ	その他・不詳	鉄道・電車	バス
高松市	0.6	0.2	3.2	-2.1	-3.1	0.3	0.9	0.6	1.8
丸亀市	-0.5	0.1	2.5	-1.2	-1.3	-0.3	0.7	-0.1	1.2
坂出市	-0.1	0.2	2.0	-1.4	-0.8	-0.3	0.4	2.8	1.6
普通寺市	-0.3	0.3	0.5	-1.2	-2.2	1.8	1.1	3.1	1.3
観音寺市	-0.5	0.1	2.1	-1.3	-2.2	0.1	1.7	0.7	2.1
さぬき市	-0.4	0.3	2.3	-1.2	-1.5	0.4	0.2	1.9	0.9
東かがわ市	-1.3	0.3	3.2	-1.1	-2.3	0.4	0.7	1.5	0.7
三豊市	-0.6	0.2	0.9	-0.8	-0.3	0.1	0.6	2.6	1.4
土庄町	0.2	0.3	4.0	-1.1	-2.8	0.2	-0.6	1.9	7.4
小豆島町	0.0	2.3	6.0	-1.7	-5.7	-0.7	-0.2	0.7	32.3
三木町	-0.6	0.3	2.9	-1.2	-1.0	-0.4	0.0	-4.6	-1.3
直島町	0.3	-0.5	1.2	-2.5	-0.9	-0.5	2.8	3.2	0.9
宇多津町	0.4	0.1	1.3	-1.6	-1.7	0.1	1.3	2.2	0.7
綾川町	-1.2	0.3	2.0	-0.9	-0.4	-0.2	0.5	-1.4	2.3
琴平町	-0.7	0.8	1.8	-0.6	-1.8	-1.0	1.5	-1.5	-10.8
多度津町	-0.5	0.0	0.1	-0.8	1.5	-2.6	2.3	-1.4	-1.5
まんのう町	-0.4	0.5	0.2	-0.5	-0.5	0.1	0.6	0.9	-4.1
香川県	0.0	0.3	2.2	-1.5	-1.9	0.1	0.8	-5.1	-0.1

通勤者

	鉄道・電車	バス	自動車	オートバイ	自転車	徒歩のみ	その他・不詳
高松市	0.5	0.1	3.1	-2.0	-2.7	0.4	0.6
丸亀市	-0.5	0.0	2.5	-1.2	-0.9	-0.2	0.3
坂出市	-0.2	0.1	1.8	-1.5	0.0	-0.3	0.2
普通寺市	-0.6	0.2	-0.5	-1.1	-0.8	1.9	0.9
観音寺市	-0.2	0.0	0.6	-1.2	-0.7	0.0	1.5
さぬき市	-1.0	0.1	2.6	-1.1	-0.6	0.2	-0.2
東かがわ市	-0.9	0.1	3.0	-1.2	-1.9	0.5	0.4
三豊市	-0.2	0.1	0.5	-0.8	0.3	-0.3	0.4
土庄町	0.1	-0.2	3.1	-1.3	-2.3	0.9	-0.4
小豆島町	-0.1	-0.3	5.7	-1.8	-2.5	-1.0	-0.1
三木町	-0.9	0.1	3.2	-1.2	-0.3	-0.6	-0.3
直島町	0.1	-0.7	0.6	-3.0	-0.2	-0.1	3.4
宇多津町	-0.1	-0.1	1.9	-1.6	-1.0	0.1	0.8
綾川町	-0.7	0.0	0.5	-0.8	0.4	0.6	0.2
琴平町	-0.2	0.8	0.6	-0.6	-0.9	-0.9	1.3
多度津町	-0.6	0.0	-0.3	-0.9	2.3	-2.5	2.0
まんのう町	-0.2	0.4	-0.7	-0.3	0.6	0.0	0.3
香川県	0.0	0.1	1.9	-1.5	-1.3	0.1	0.5

通学者

	鉄道・電車	バス	自動車	オートバイ	自転車	徒歩のみ	その他・不詳
高松市	1.7	-2.3	-5.3	-0.4	3.5		
丸亀市	1.5	-1.6	-3.4	-1.4	3.9		
坂出市	0.0	-1.4	-4.7	-0.5	2.2		
普通寺市	1.4	-1.6	-9.0	2.3	2.5		
観音寺市	1.9	-2.2	-6.3	0.3	3.5		
さぬき市	-1.7	-1.8	-6.5	1.7	2.4		
東かがわ市	1.6	-0.4	-4.5	-0.5	3.4		
三豊市	1.3	-1.0	-4.0	3.1	1.8		
土庄町	1.3	-0.6	-1.8	-6.5	-1.7		
小豆島町	0.0	-0.7	-35.1	2.5	0.2		
三木町	-1.3	-3.1	1.1	2.2			
直島町	3.2	-7.1	-4.7	0.1			
宇多津町	0.7	-1.5	-10.8	-0.4	5.8		
綾川町	2.3	-1.4	-1.5	-5.0	3.0		
琴平町	-0.9	-4.1	-1.8	4.4			
多度津町	0.4	-4.1	-3.6	4.5			
まんのう町	1.7	-1.6	-6.5	0.6	3.3		
香川県	1.1	1.8	1.0	-1.7	-5.1	-0.1	3.1

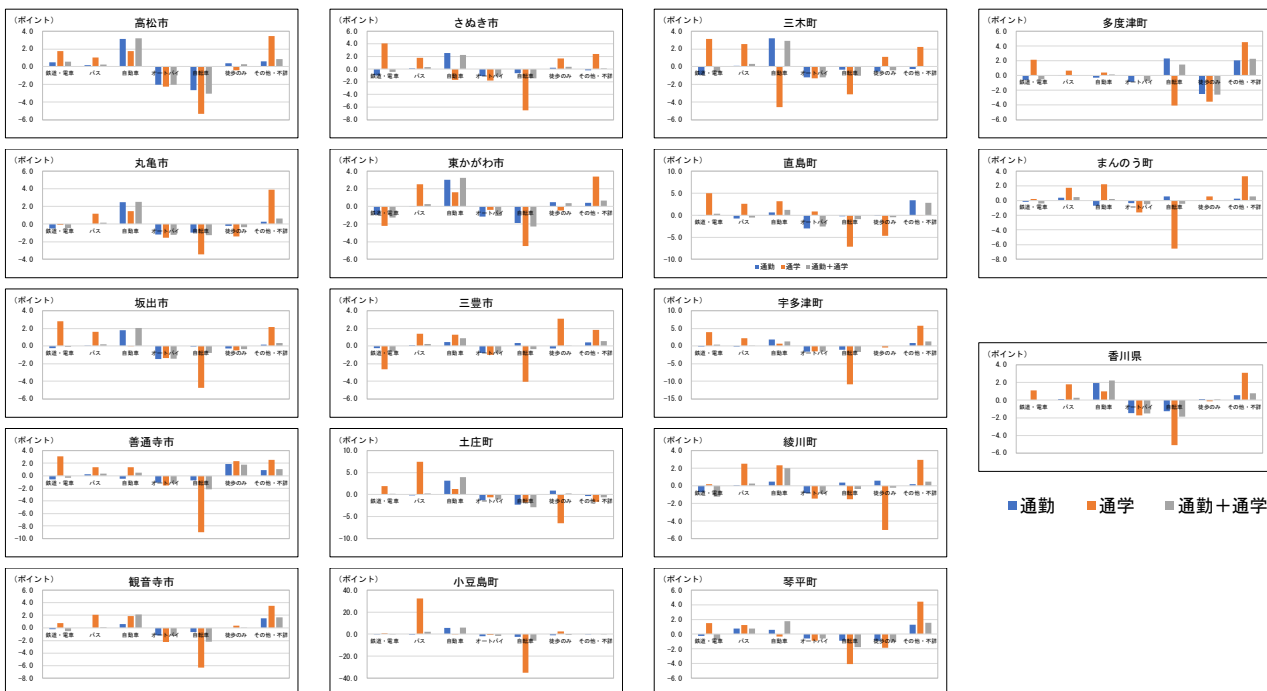
25

交通網 利便性

交通手段分担率 (通勤・通学)

(使用データ) 平成22年国勢調査、令和2年国勢調査 小地域集計 第17-2表 男女、利用交通手段別通勤者数(15歳以上)―町丁・字等 及び第17-3表 男女、利用交通手段別通学者数(15歳以上)―町丁・字等

交通手段分担率の増減(平成22年→令和2年)



26

交通安全 交通環境

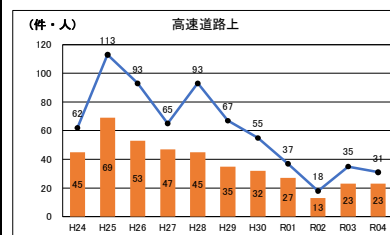
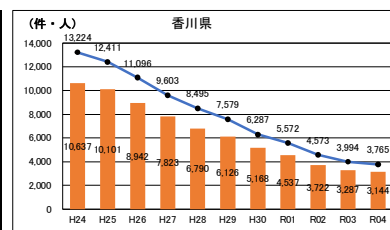
交通事故発生件数 増減指数

(使用データ) 平成24年～令和4年の「交通事故統計資料 市町別交通事故発生状況」(香川県警察本部、各年12月末)

- ・香川県での交通事故は、発生件数、死傷者数とも毎年減少を続けており、平成29年から令和4年までの5年間で発生件数の増減指数は51.3(48.7%減少)、死傷者数の増減指数は49.7(50.3%減)となった。各市町とも大きく減少しており、特に三豊市では発生件数・死傷者数とも7割以上減少している。
- ・高速道路上での事故は、令和2年まで減少傾向が見られたが、令和3年以降は横ばいとなっている。

交通事故発生件数・死傷者数の推移

	H24		H29		R04		H29→R04 増減指数 (H29=100.0)		H24→R04 増減指数 (H24=100.0)		11年平均	
	発生件数	死傷者数	発生件数	死傷者数	発生件数	死傷者数	発生件数	死傷者数	発生件数	死傷者数	発生件数	死傷者数
高松市	5,053	6,174	2,996	3,652	1,575	1,873	52.6	51.3	31.2	30.3	3,119	3,804
丸亀市	1,478	1,909	776	945	439	530	56.6	56.1	29.7	27.8	849	1,062
坂出市	624	763	412	503	192	213	46.6	42.3	30.8	27.9	410	498
普通寺市	409	502	214	253	117	139	54.7	54.9	28.6	27.7	227	274
観音寺市	484	599	289	343	118	150	40.8	43.7	24.4	25.0	296	372
さぬき市	391	491	264	352	104	128	39.4	36.4	26.6	26.1	244	299
東かがわ市	242	314	146	210	107	142	73.3	67.6	44.2	45.2	150	192
三豊市	614	762	283	343	81	98	28.6	28.6	13.2	12.9	314	385
土庄町	66	82	36	44	14	14	38.9	31.8	21.2	17.1	32	38
小豆島町	84	112	45	60	32	40	71.1	66.7	38.1	35.7	40	51
三木町	233	293	125	156	79	89	63.2	57.1	33.9	30.4	141	171
直島町	7	11	0	0	2	3	—	—	28.6	27.3	2	3
宇多津町	266	334	160	202	62	78	38.8	38.6	23.3	23.4	161	200
綾川町	219	300	129	165	59	74	45.7	44.8	26.9	24.7	127	161
琴平町	80	88	44	64	31	35	70.5	54.7	38.8	39.8	48	57
多度津町	171	212	86	101	54	62	62.8	61.4	31.6	29.2	96	121
まんのう町	171	216	86	119	55	66	64.0	55.5	32.2	30.6	96	125
高速道路上	45	62	35	67	23	31	65.7	46.3	51.1	50.0	37	61
香川県	10,637	13,224	6,126	7,579	3,144	3,765	51.3	49.7	29.6	28.5	6,389	7,873



■発生件数 ●死傷者数

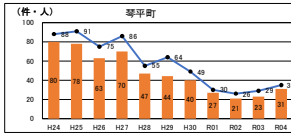
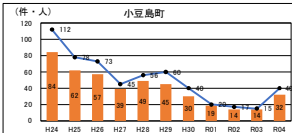
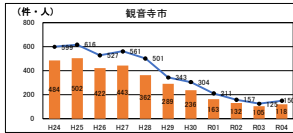
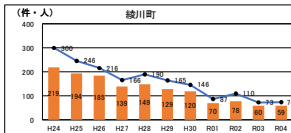
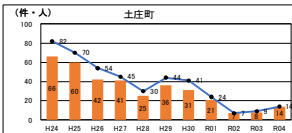
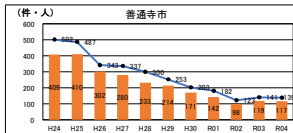
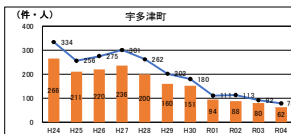
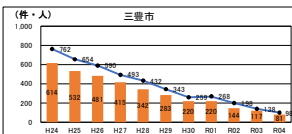
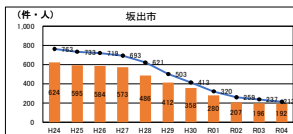
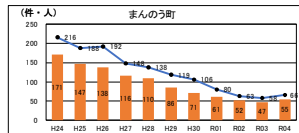
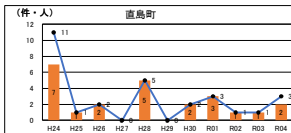
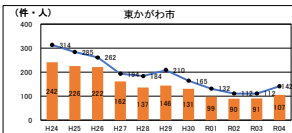
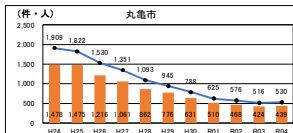
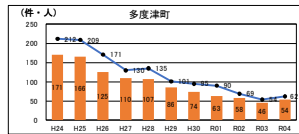
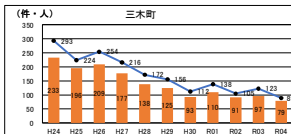
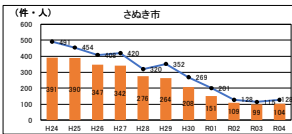
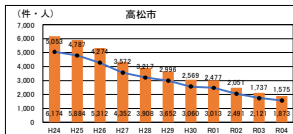
27

交通安全
交通環境

交通事故発生件数

（使用データ）平成24年～令和4年の「交通事故統計資料 市町別交通事故発生状況」（香川県警察本部、各年12月末）

市町別交通事故発生件数、死傷者数の推移



発生件数 死傷者数

交通安全
交通環境

C02発生量

（使用データ）全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査 箇所別基本表（平成22年度、平成27年度、令和3年度）より、路線・区間別、車種（小型車、大型車）別の昼間12時間交通量と、それに対応した昼間12時間平均旅行速度を抽出し、国総研資料第671号に示された算定式を用いてC02排出量等を算出。

・平成27年度から令和3年度までの変化を見ると、県内の交通量（総走行台・キロ）、C02排出量のいずれも減少傾向となっている。C02排出量は増減指数86.6（13.4%減）となっており、走行台・キロの減少幅以上に減少していることから、排ガス規制強化やエコカー普及等の効果が表れているものと考えられる。

自動車によるC02排出量の推移

		H22	H27	R03	増減指数 H27→R03 (H27年＝100)	増減指数 H22→R03 (H22年＝100)
区間延長		1,922.0	1,924.5	1,905.1	99.0	99.1
総走行台：キロ （台・km/12時間）	小型車	12,054,139	9,523,173	9,128,920	95.9	75.7
	大型車	1,570,627	1,237,484	1,088,143	87.9	69.3
	合 計	13,624,766	10,760,658	10,217,063	94.9	75.0
C02排出量 （t/12時間）	小型車	2,020.3	1,371.6	1,187.9	86.6	58.8

※高速道路及び大型車の交通量は、県外から県外への通過交通（県民によらない移動）が多く含まれることが考えられるため、C02排出量の算出においては除外した

※令和3年は、道路交通センサスで一般国道11号（高松東道路）が高速道路と扱われたため集計対象から除外した関係で、区間延長が短くなっている

速度別の自動車排出係数

平均速度 （km/h）	自動車排出係数（C02）			
	2010（H22）年次		2015（H27）年次※	
	g/km・台		g/km・台	
	小型車種	大型車種	小型車種	大型車種
5	437.1	1,645.8	383.9	1,527.1
10	328.8	1,371.7	289.0	1,272.8
15	237.1	1,099.0	208.8	1,019.7
20	209.8	1,013.8	184.8	940.8
25	187.5	928.7	165.3	859.7
30	171.3	855.7	151.1	791.2
35	158.9	793.7	140.3	733.5
40	149.5	741.9	132.2	685.8
45	142.2	700.1	125.9	647.5
50	136.9	667.9	121.3	618.4
55	133.2	645.4	118.2	598.2
60	131.1	632.3	116.4	586.9
65	130.3	628.6	115.8	584.3
70	130.9	634.3	116.3	590.4
75	132.8	649.3	118.0	605.2
80	135.9	673.6	120.8	628.4
85	140.2	707.2	124.6	660.3
90	145.6	750.1	129.4	700.8
95	152.3	750.1	135.3	700.8

出典：国土交通省国土技術政策総合研究所 研究成果資料 第671号
道路環境影響評価に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22年度版）
※2015年次の排出係数は公表されていないため、2010年次と2020年次の中間値とした

C02排出量の算出方法：

全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）より、県内の主要道路における交通量及び昼間12時間平均旅行速度を取得し、速度別の自動車排出係数（右上表参照）を用いて算出

C02排出量（t/12時間）＝ 小型車交通量（台・km/12時間） × 走行速度別自動車排出係数（g/km・台）
小型車交通量（台・km/12時間）＝ 道路区間ごとの区間延長（km） × 昼間12時間小型車交通量（台/12時間）

※算出結果の詳細は次頁参照

交通安全 交通環境	C02発生量	(使用データ) 全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス) 一般交通量調査 箇所別基本表(平成22年度、平成27年度、令和3年度)より、路線・区間別、車種(小型車、大型車)別の昼間12時間交通量と、それに対応した昼間12時間平均旅行速度を抽出し、国総研資料第671号に示された算定式を用いてC02排出量等を算出。
--------------	--------	--

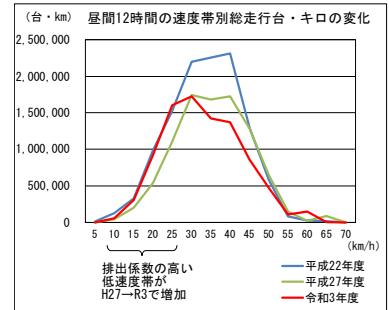
- ・小型車のC02総排出量は減少傾向にあり、平成27年から令和3年までの増減係数は86.6(13.4%の減)となっている。
- ・自動車交通量(走行台・キロ)も全体的には減少傾向が見られるが、排出係数が高い低速度帯(10~25km/h)は増加している。今後は、低速度帯については旅行速度を引き上げ、より排出係数が低い速度帯の割合を増やすことが、C02排出削減にとって重要と考えられる。

C02排出係数、小型車通行量、C02排出量の推移

旅行速度 (km/h)	H22			H27			R03			H27→R03 C02排出量 増減指数 (H27=100.0)	H22→R03 C02排出量 増減指数 (H22=100.0)
	C02排出係数 (g/km・台)	昼間12時間 走行台・キロ (台・km)	昼間12時間 C02総排出量 (t)	C02排出係数 (g/km・台)	昼間12時間 走行台・キロ (台・km)	昼間12時間 C02総排出量 (t)	C02排出係数 (g/km・台)	昼間12時間 走行台・キロ (台・km)	昼間12時間 C02総排出量 (t)		
5	437.1	11,841	5.2	382.3	830	0.3	330.6	54,410	0.0	4.3	0.3
10	328.8	123,997	40.8	288.2	43,384	12.5	249.2	108.4	13.6	108.4	33.3
15	237.1	326,369	77.4	208.6	200,303	41.8	180.4	306,370	55.3	132.3	71.4
20	209.8	987,104	207.1	184.8	536,070	99.1	159.8	917,331	146.6	148.0	70.8
25	187.5	1,521,686	285.3	165.3	1,103,929	182.4	143.0	1,603,222	229.3	125.7	80.4
30	171.3	2,200,859	377.0	151.1	1,744,676	263.6	130.9	1,727,011	226.1	85.8	60.0
35	158.9	2,256,504	358.6	140.3	1,682,118	236.0	121.7	1,421,605	173.0	73.3	48.3
40	149.5	2,313,293	345.8	132.2	1,727,753	228.3	114.8	1,369,897	157.3	68.9	45.5
45	142.2	1,297,258	184.5	125.9	1,283,390	161.5	109.5	857,170	93.9	58.1	50.9
50	136.9	583,737	79.9	121.3	650,839	78.9	105.7	474,204	50.1	63.5	62.7
55	133.2	81,121	10.8	118.2	147,533	17.4	103.1	107,073	11.0	63.3	102.2
60	131.1	24,130	3.2	116.4	20,378	2.4	101.6	147,797	15.0	633.3	474.7
65	130.3	18,268	2.4	115.8	87,036	10.1	101.2	2,724	0.3	2.7	11.6
70	130.9	0	0.0	116.3	0	0.0	101.7	0	0.0	—	—
75	132.8	191,199	25.4	118.0	4,941	0.6	103.2	0	0.0	—	—
80	135.9	0	0.0	120.8	100,327	12.1	105.6	0	0.0	—	—
85	140.2	0	0.0	124.6	21,434	2.7	108.9	4,853	0.5	19.8	—
90	145.6	116,776	17.0	129.4	154,824	20.0	113.1	0	0.0	—	—
95	152.3	0	0.0	135.3	13,410	1.8	118.2	128,279	15.2	836.0	—
100	160.1	0	0.0	142.1	0	0.0	124.0	6,933	0.9	—	—
計	—	12,054,142	2,020.3	—	9,523,173	1,371.6	—	9,128,920	1,187.9	86.6	58.8

※旅行速度は、全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)より、旅行速度の平均(上り/下り、混雑時/非混雑時の平均)を算出

※H27・R03は、旅行速度の閾値を中央値として扱った
(例)旅行速度 7.5km/h~12.5km/h を旅行速度10km/hとして計上



30

傾向 分析	平成29年→令和4年の傾向分析
----------	-----------------

評価視点	モニタリング指標	評価指標	評価	傾向分析
都市・ 地域経営	歳出・歳入額(比)	県歳出歳入比 98.0%(H29) → 97.2%(R04)	進展	県の歳出歳入比は下降している
	目的別、性質別歳出額・人口 あたり(民生費)	一人あたり民生費 217.0千円(H29) → 256.8千円(R04)	後退	県と市町合計の一人あたり民生費は増加している
	同上(土木費)	一人あたり土木費 83.2千円(H29) → 89.1千円(R04)	後退	県と市町合計の一人あたり土木費は増加している
	同上(維持補修費)	一人あたり維持補修費 11.3千円(H29) → 10.6千円(R04)	進展	県と市町合計の一人あたり維持補修費は減少している
	財政力指数	県内市町平均値 0.55(H29) → 0.51(R04)	後退	財政力指数は大部分の市町で下降している
	拠点内人口	拠点内人口構成比※ 47.9%(H27) → 48.2%(R02)	進展	拠点内への人口集積は進んでいる
地域活性化・ 田園都市生活	拠点内年間商品販売額	拠点内商品販売額構成比 5.19%(H26) → 5.57%(R03)	進展	拠点により傾向の違いが見られるが、県全体に占める拠点内の商業集積地区の販売額の割合は上昇している
	公共交通利用者数	拠点内駅の年間乗降客数 14,806千人(H29) → 12,787千人(R04)	後退	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、拠点内駅を利用する乗降客数は減少している
	同上	平均移動距離 18.1km(H29) → 18.0km(R04)	進展	1トリップあたりの平均移動距離は減少している
交通網 利便性	アクセシビリティ・公共交通 カバーエリア	公共交通利用県内人口カバー率 (鉄道+バスで高松駅から30分圏域) 29.5%(H27) → 34.0%(R02)	進展	高松駅から30分圏域における公共交通カバー率は上昇している(丸亀駅・坂田駅・善通寺駅も上昇)
	通勤時間が30分以内の世帯割合	通勤時間が30分以内の世帯 69.0%(H30) → 67.3%(R05)	後退	通勤時間が30分以内の世帯割合は下降している
	交通手段分担率(通勤・通 学)	—	—	国勢調査(H27)の調査データなし
交通安全・ 交通環境	交通事故発生件数	死傷者数 7,579人(H29) → 3,765人(R04)	進展	交通事故による死傷者数は大きく減少している
	C02発生量	小型車C02排出量(12時間) 1371.6t(H27) → 1187.9t(R03)	進展	通勤や買い物等、日常移動の主な交通手段と考えられる小型自動車によるC02排出量は減少している。

※拠点内人口構成比は、比較条件を揃えるためR03に集約拠点となった旧高瀬町中心部・旧三野町中心部を除外して算出

31

傾向分析		平成24年→令和4年の傾向分析
------	--	-----------------

評価視点	モニタリング指標	評価指標	評価	傾向分析
都市・地域経営	歳出・歳入額（比）	県歳出歳入比 96.6%（H24）→ 97.2%（R04）	後退	県の歳出歳入比は上昇している
	目的別、性質別歳出額・人口あたり（民生費）	一人あたり民生費 189.6千円（H24）→ 256.8千円（R04）	後退	県と市町合計の一人あたり民生費は増加している
	同上（土木費）	一人あたり土木費 80.8千円（H24）→ 89.1千円（R04）	後退	県と市町合計の一人あたり土木費は増加している
	同上（維持補修費）	一人あたり維持補修費 7.1千円（H24）→ 10.6千円（R04）	後退	県と市町合計の一人あたり維持補修費は増加している
	財政力指数	県内市町平均値 0.55（H24）→ 0.51（R04）	後退	財政力指数は大部分の市町で下降している
	拠点内人口	拠点内人口構成比※ 47.7%（H22）→ 48.2%（R02）	進展	拠点内への人口集積は進んでいる
地域活性化・田園都市生活	拠点内年間商品販売額	拠点内商品販売額構成比 6.33%（H19）→ 5.57%（R03）	後退	拠点により傾向の違いが見られるが、県全体に占める拠点内の商業集積地区の販売額の割合は下降している
	公共交通利用者数	拠点内駅の年間乗降客数 14,610千人（H24）→ 12,787千人（R04）	後退	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、拠点内駅を利用する乗降客数は減少している
	同上	平均移動距離 18.5km（H24）→ 18.0km（R04）	進展	1トリップあたりの平均移動距離は減少している
交通網利便性	アクセシビリティ・公共交通カバーエリア	公共交通利用県内人口カバー率（鉄道＋バスで高松駅から30分圏域） 29.2%（H22）→ 34.0%（R02）	進展	高松駅から30分圏域における公共交通カバー率は上昇している（丸亀駅・坂出駅・善通寺駅も上昇）
	通勤時間が30分以内の世帯割合	通勤時間が30分以内の世帯 69.2%（H25）→ 67.3%（R05）	後退	通勤時間が30分以内の世帯割合は下降している
	交通手段分担率（通勤・通学）	通勤者の自動車分担率 69.8%（H22）→ 71.7%（R02）	後退	通勤に利用する交通手段のうち、自動車が占める割合は上昇している
交通安全・交通環境	交通事故発生件数	死傷者数 13,224人（H24）→ 3,765人（R04）	進展	交通事故による死傷者数は大きく減少している
	C02発生量	小型車C02排出量（12時間） 2020.3t（H22）→ 1187.9t（R03）	進展	通勤や買い物等、日常移動の主な交通手段と考えられる小型自動車によるC02排出量は減少している。

※拠点内人口構成比は、比較条件を揃えるためR03に集約拠点となった旧高瀬町中心部・旧三野町中心部を除外して算出

傾向分析		平成24年、平成29年、令和4年の数値まとめ
------	--	------------------------

--

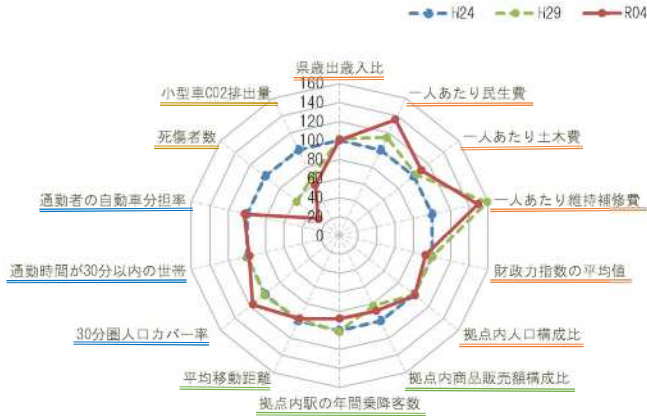
モニタリング指標	評価指標	実績値				H24を100とした指数		H24を±0とし、進展方向を「+」とした指数	
		H24	H29	R04	単位	H29	R04	H29	R04
歳出・歳入額（比）	県歳出歳入比（県）	96.6	98.0	97.2	%	101.4	100.6	-1.4	-0.6
目的別、性質別歳出額・人口あたり（民生費）	一人あたり民生費（県＋市町）	189.6	217.0	256.8	千円	114.5	135.4	-14.5	-35.4
同上（土木費）	一人あたり土木費（県＋市町）	80.8	83.2	89.1	千円	103.0	110.3	-3.0	-10.3
同上（普通建設事業費）	一人あたり普通建設事業費（県＋市町）	102.1	124.5	116.8	千円	121.9	114.4	-21.9	-14.4
同上（維持補修費）	一人あたり維持補修費（県＋市町）	7.1	11.3	10.6	千円	159.2	149.3	-59.2	-49.3
財政力指数	財政力指数の平均値（市町）	0.55	0.55	0.51	-	100.0	92.7	0.0	-7.3
拠点内人口	拠点内人口構成比（対県）	47.7	47.9	48.2	%	100.4	101.0	0.4	1.0
拠点内年間商品販売額	拠点内商品販売額構成比（対県）	6.33	5.19	5.57	%	82.0	88.0	-18.0	-12.0
公共交通利用者数	拠点内駅の年間乗降客数	14,610	14,806	12,787	千人	101.3	87.5	1.3	-12.5
同上	平均移動距離	18.5	18.1	18.0	km	97.8	97.3	2.2	2.7
アクセシビリティ・公共交通カバーエリア	30分圏人口カバー率（高松駅からの鉄道＋バス）	29.2	29.5	34.0	%	101.0	116.4	1.0	16.4
通勤時間が30分以内の世帯割合	通勤時間が30分以内の世帯（県）	69.2	69.0	67.3	%	99.7	97.3	-0.3	-2.7
交通手段分担率（通勤・通学）	通勤者の自動車分担率（県）	69.8	—	71.7	%	—	102.7	—	-2.7
交通事故発生件数	死傷者数（県）	13,224	7,579	3,765	人	57.3	28.5	42.7	71.5
C02発生量	小型車C02排出量（県）	2020.3	1371.6	1187.9	t/12h	67.9	58.8	32.1	41.2

※項目によっては、H24・H29・R04とは異なる近傍年度の指標値を用いている場合がある（データ取得可能年度の制約による）
交通手段分担率は、国勢調査における10年ごとの調査項目であるため、H27調査の数値は無い

平成24年、平成29年、令和4年の数値まとめ

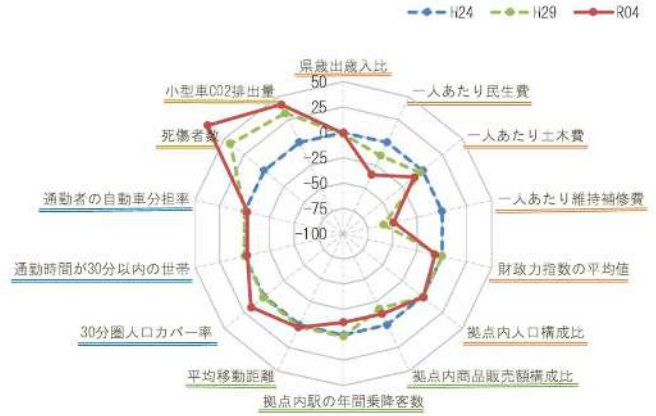
モニタリング指標について、H24からの進展・後退の状況を見ると、「都市・地域経営」では財政に関する指標がマイナス傾向となっており、拠点内への人口集約はややプラス傾向となっている。「地域活性化・田園都市生活」では、小売業や拠点駅の鉄道乗降客数についてはマイナス傾向、平均移動距離はややプラス傾向となっている。「交通網利便性」では、30分圏内の人口比率はややプラスとなる一方で、通勤時間が30分以上の世帯割合や自動車への依存度がややマイナス傾向となっている。「交通安全・交通環境」では、交通事故死傷者数、小型車CO2排出量とも大きくプラス傾向となっている。

モニタリング指標（絶対値）の変化状況



※H24の値を100とし、H29・R04の指数を示したもの

モニタリング指標の進展・後退の状況



※H24の値を0とし、H29・R04の指数について集約化の進展方向をプラス、後退方向をマイナスとして示したもの

- 都市・地域經營
- 交通網利便性
- 地域活性化・田園都市生活
- 交通安全・交通環境